

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度 2018年度 活動報告書

2018年4月1日 ~ 2019年3月31日

2019年11月29日

Japan Football Association

JFA



はじめに



JFAは、サッカーの場づくりに関わる人々を支え、サッカー、そしてスポーツが生涯にわたって生活の一部となり、より豊かなスポーツ文化を育まれることを目指しています。

2014年5月15日にJFAが「Football For All サッカーを、もっとみんなのものへ。」をスローガンとする「JFAグラスルーツ宣言（※1）」を宣言したことを皮切りに、グラスルーツへの取り組みに注力してきました。その後、2015年に実施したグラスルーツアンケート調査で、JFAグラスルーツ宣言の趣旨と同様の活動をされている方々が全国各地に多く存在していることが分かりました。そこで、それらの方々とつながり、活動を紹介し、仲間を増やしていくことがJFAのグラスルーツ宣言の具現化に近づくと考え、2016年4月から本制度をスタートしました。

2018年度までの3年間で、181団体を賛同パートナーとして認定し、全国各地から素晴らしい活動のご報告をいただきました。また、2018年5月には、グラスルーツ環境のあるべき姿を考えるために「JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーカンファレンス」を開催しました。これらを通して、この3年間でグラスルーツの状況をより把握することができました。

賛同パートナーの皆様に心より感謝申し上げます。

本報告書では、賛同パートナー制度の全体概要、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーカンファレンスの報告、好事例の紹介、現場の声を記載しています。是非ご覧ください。

※1 JFAグラスルーツ宣言

JFAの理念とビジョンに基づき、年齢、性別、障がい、人種などに関わりなく、だれもが、いつでも、どこでも、サッカーを身近に心から楽しめる環境を提供し、その質の向上に努めることを宣言しました。

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度

認定団体数 181

団体 (2019年3月31日現在)

北海道

札幌中央フットボールクラブ
シーガルサッカークラブ
特定非営利活動法人ReBra
ワイズクラブ釧路

青森県

社会福祉法人 純心会 まるくこども園
ボールスターユニテッドスポーツクラブ

宮城県

VOCK大崎レディースフットボールクラブ
SendaiForza
特定非営利活動法人まきばフリースクール
特定非営利活動法人ラソスボルテクルービ

山形県

NPO法人サルパトール梅引
特定非営利活動法人プチユニテッドアスリートクラブ

茨城県

茨城県知的障がい者サッカー連盟
特定非営利活動法人ヴェレン大洗SV
アライブサッカースクール

群馬県

蹴球団藤岡キッカーズ
JOYFULサッカークラブ
特定非営利活動法人アツラ ヴィータ スポーツ
Rafaga Club de Futbol

埼玉県

一般社団法人 埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会
浦和グランパワーズ
FC REAL
FC もんちっち
NPO法人 SHIRAOKA K'sフットボールクラブ
NPO法人 浦和スポーツクラブ
白岡市サッカー協会
鶴ヶ島ブルーウィングスサッカー少年団
南中野ダックスF.C.
寄居サッカークラブ
ra`pido futsal club
LIVRO白岡SoccerClub

千葉県

ATLETICO君津
一般社団法人 行徳スワローアカデミアクラブ
NPO法人 幕総クラブ
TODOS UNIDOS
ドリームチャレンジフットボールファン
千葉『共に暮らす』フットボール協会

東京都

ApreDiver
アッチ・フットボールアカデミー
一般社団法人Enije
一般社団法人キッズブーケプロジェクト
一般社団法人日本ウォーキングサッカー協会
一般社団法人日本ソサイチ連盟
A.C ammaliatore
FCアンビジャス
FCイグナル

FC東京

NPO法人ゼロスポーツコミュニケーション
ダイバーシティサッカー協会
カフリンガ東久留米
株式会社 アシント

株式会社クリエティブヘッズ(エフチャンネル・フットサルステージ)
上鷲宮少年サッカークラブ

Clube Atletico SOLUA

皇月フットボールクラブ

品川区フットサル連盟

JATSサッカークラブ

千代田区サッカー協会

東京都市大学付属高等学校フットサル部

東京都知的障がい者サッカー連盟

トライサッカークラブ

日本ウォーキング・フットボール連盟

BeYonDプロジェクトチーム

三鷹JFC

オンセドリームプロジェクトチーム

LARGO FOOTBALL CLUB

リベルタサッカースクール

REPLU TOKYO

神奈川県

あざみ野キッカーズ

FC PORT

NPO港北フットボールクラブ

NPO大豆腐フットボールクラブ

NPO法人 レフェリーアカデミー横浜

エスペランサNEXT

KAZU SOCCER CLUB

株式会社レグロ

川崎ジュニアフットボールクラブ

クライティエポFC

一般社団法人 公田サッカークラブ

公益財団法人横浜YMCA サッカークラス

城北ファイターズ

チームSMILEサラダ

知的障がい者サッカー推進連盟

特定非営利活動法人CPサッカー&ライブエスペランサ

長津田ドラゴンズフットボールクラブ

ポッドレーOFC

横浜F・マリノス

横浜かもめスポーツクラブ

長野県

一般社団法人筑北スポーツ振興協会

三郷サッカースポーツ少年団ジュニアユース

PLAY MAKERプロジェクト

新潟県

VIVA ENJOY FOOTBALL

bandai12

フリーダム新潟FC

見附小学校サッカークラブ

福井県

パトリアーレSABAE

静岡県

一般社団法人PlusDeporte

株式会社エスパルス

CONFIANÇA

しもあおベース

裾野西サッカースポーツ少年団

特定非営利活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポーラスター

愛知県

碧フットボールクラブ

一般社団法人AVANCO

一般社団法人One Life

一般社団法人リコペンテ スクール・アカデミー

VALLONFEEZ FOOTBALL CLUB

NPO法人GranArbolスポーツクラブ

Club Atletico AIOCHI

九番団地子供サッカー教室

FORZA INTERNATIONAL

ストリートサッカー

特定非営利活動法人JOANSスポーツクラブ

豊田竜神FC1977

Football Club Avance

positivo FC

Luciro Football Club

ワイヴァンフットボールクラブ

三重県

七里御浜FC

ベルナサッカークラブ

岐阜県

IGSユニバーサルスポーツクラブ

糸貫サッカー少年団

FCプログレッシブ

岐南サッカースポーツ少年団

滋賀県

NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB

ROSA SHIGA

京都府

AC.gloria

大阪府

アイリスFC吉吉

F.C.PLUS ONE

NPO法人 吹田南フットボールクラブ

NPO法人八尾大正スポーツクラブ

J Brave Football Club

HalfTime

枚方フットボールクラブ

PLUCK FC

北摂ユニテッド

兵庫県

あかしユニバーサルフットボール連盟

一般社団法人 オープンゲート スポーツクラブ

一般社団法人 スポーツアカデミー ロヴェスト神戸

ウエルネス

但馬知的障がい者サッカー連盟

チャレンジドサッカーサークル神戸

特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ

HYOGO CHANCEN SV

奈良県

特定非営利活動法人奈良クラブ

和歌山県

特定非営利活動法人和歌山からJリーグチームをつくる会

鳥取県

松江FCだんだん

岡山県

すごうSC

玉野Divell

当新田サッカークラブ

広島県

A-pfeile広島

熊野サッカースポーツ少年団

JOYFOOT

広島市室内サッカー

香川県

キッズフィールド 高松

徳島県

アレックス サッカースクール

藍住西FCスポーツ少年団

Fun FC

愛媛県

NPO法人 School Green Japan

FUNサッカークラブ

福岡県

エスベロー直方

Copa Ohori

つばさアカデミア・サッカースクール

特定非営利活動法人 春日イーグルス

FORTE Football Academy

VAMOS福岡FC

佐賀県

ソルニエニョFC

長崎県

よこおスポーツクラブ コラソ横尾

熊本県

アルエット熊本フットボールクラブ

NPO法人スポーツクラブ・エスペランサ熊本

ソルサフガール

大分県

サッカーを通して楽しい時間を過ごそう(サカたの)

特定非営利活動法人カティオーラ

宮崎県

一般社団法人蹴一協会

妻北サッカースポーツ少年団

テゲバジャーロ宮崎

ブライズFC

鹿児島県

武岡フットボールクラブ

向花サッカースポーツ少年団

山口・九州ろう者サッカー協会

沖縄県

一般社団法人サンビスカス沖縄

2018年度の全体



JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度の3つのテーマ

引退なし

ずっと Enjoy♪

JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー

サッカーは一生楽しめるもの。学校卒業、就職、転勤等、人生の節目で「引退」して終わるのではなく、サッカーをやりたい人は、どこにいても気軽にサッカーが継続できるように、子供からお年寄りまで、サッカーを楽しめる場づくりに取り組んでいる団体を認定します。

補欠ゼロ

みんな Play!

JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー

サッカーは試合に出て楽しむもの。その試合に出られなくても他の試合でしっかりと出られるようにする等、万年補欠でサッカーを終えることなく、上手い・下手関係なくみんなが心からサッカーを楽しむことができるように取り組んでいる団体を認定します。

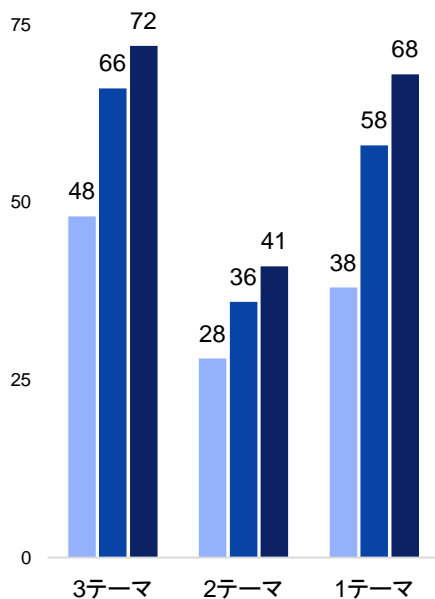
障がい者サッカー

だれでも Join♪

JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー

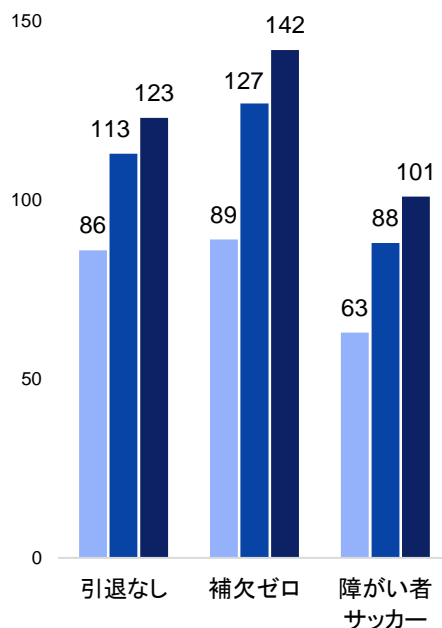
サッカーは障がいの有無に関係なく楽しめるもの。障がいのある人も楽しめるようにするには、周りの人達が障がいを理解し、どうすれば一緒に楽しめるのかを考えて行動することです。多様性を受け入れ、障がいの有無に関わらず、サッカーを楽しめる場づくりに取り組んでいる団体を認定します。

認定テーマ数別 団体数



認定テーマ数

認定テーマ別 団体数



認定テーマ

■ 2016年度
■ 2017年度
■ 2018年度

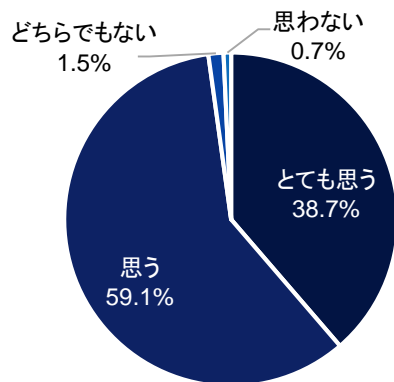
2018年度は、181団体がJFAグラスルーツ推進・賛同パートナーとして認定され、2017年度の160団体から21団体増えました。掲げられている3つのテーマ全てに認定された賛同パートナーは、72団体(40%)、2つのテーマに認定された賛同パートナーは41団体(23%)、1つのテーマに認定された賛同パートナーは68団体(37%)となりました。

テーマ別における団体数は、「補欠ゼロ」が142団体と最も多く、「引退なし」が123団体、「障がい者サッカー」が101団体となりました。

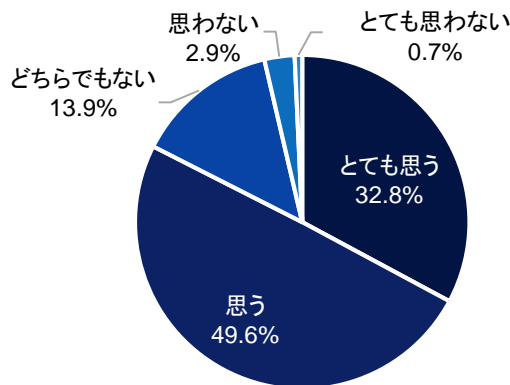
2018年度の全体

アンケート結果 回答団体数 137団体

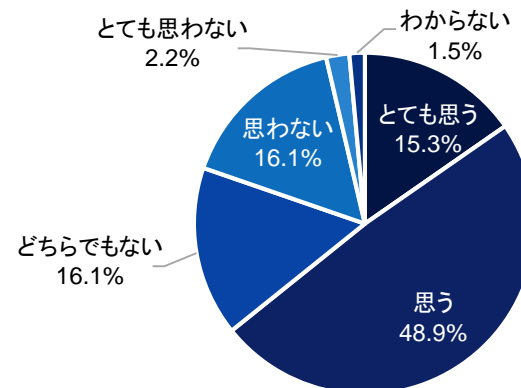
賛同パートナーに申請した時の活動目標を達成できたと思う



賛同パートナーになり、団体の活動充実につながったと思う



JFAグラスルーツ宣言の趣旨が周囲に浸透していると思う



上のグラフは、2018年度末までに賛同パートナーに認定された団体を対象に調査したアンケート結果です。

賛同パートナーに申請した時の活動目標を達成できたかどうかをたずねたところ、97.8%が「活動目標を達成できたと思う」と回答しました(前年度は86.7%)。賛同パートナーになったことで団体の活動充実につながったかどうかをたずねたところ、82.4%が「活動充実につながったと思う」と回答しました(前年度は75.6%)。JFAグラスルーツ宣言の趣旨が周囲に浸透しているかどうかをたずねたところ、64.2%が「浸透して

いる」と回答しました(前年度は51.1%)。

前年度の結果と比べると、「賛同パートナーに申請したときの活動目標を達成できたと思う」は11.1ポイント、「賛同パートナーになり、団体の活動充実につながったと思う」は6.8ポイント、「JFAグラスルーツ宣言の趣旨が周囲に浸透していると思う」は13.1ポイント高くなりました。

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーカンファレンス



2018年5月20日にJFAハウス内の日本サッカーミュージアム・ヴァーチャルスタジアムでJFAグラスルーツ推進・賛同パートナーカンファレンスを初めて開催しました。本カンファレンスでは、全国各地から賛同パートナー関係者を中心に約60名集まり、グラスルーツ環境のあるべき姿について議論し合いました。

■事例共有発表

「引退なし」ではあざみ野キッカーズ、「補欠ゼロ」ではNPO港北フットボールクラブ、「障がい者サッカー」ではバンクル茨城ダイバーシティフットボールクラブ、「部活とクラブの連携」ではNPO法人幕総クラブに、団体概要や普段の活動内容を発表していただきました。

■グループディスカッション

12グループに分かれ、それぞれのグループで「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」のいずれかのテーマに絞って、そのテーマに関する課題や理想の環境についてグループディスカッションを行いました。その後、各グループから全体発表をしていただき、グラスルーツ環境を変えるためのアイデアやご意見をいただきました。その一方で、活動場所を確保しにくい、障がい者サッカーの情報に乏しいなどといった課題が浮き彫りになりました。



■総括

本カンファレンスは初めての開催でしたが、グラスルーツ現場における問題点や解決策などグラスルーツ発展に繋がる貴重な意見をいただくことができました。また、参加者からは、「様々な団体の方とつながりを持ち、情報共有もできて有意義な機会となった。また次回も開催してほしい。」といった声をいただきました。JFAでは、本カンファレンスで出てきた課題やご意見等をもとに、誰もがいつでもどこでもサッカーを楽しめる環境に繋がられるように取り組んでいきたいと思っております。

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーカンファレンス

グループディスカッションで発表された各グループのご意見やアイデア等



(Ⅰ) テーマで理想とする環境のイメージ	(Ⅱ) Ⅰのイメージを実現するための課題	(Ⅲ) Ⅱの課題を解決するための方策
----------------------	----------------------	--------------------

引退なし	① 毎週末、ボールを蹴られる場所がある。 みんなをまとめる世話役がいる。	グラウンドを常に確保することが難しい。 後継者不足。	公の制度を利用していく。 学校を一般開放する。
ずっと Enjoy♪	② 決まった時間に、決まった場所に、仲間がいる(集まる)、参加できる。	集まる人数が少ない。 場所の確保が難しい。	レベルに合わせたルール(リサイズ・フットサル・ウォーキング等)を作る。 行政に組織的に働きかける。 地域の課題に寄り添った活動をし(体力・健康・貧困等)、成功例を全国に届ける。
JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー	③ ウォーキングサッカー(ユニバーサルスポーツ)の「歩く」という特性を活かし、年齢、性別、身体能力を問わず、高齢者や障がいを持つ方でも幅広く参加できる場をつくる。	認知度が低い(ルールの普及)。 場所の確保が難しい。 資金面の確保が難しい。	ウォーキングサッカーを運営できるスタッフを育成する。 資金面の確保を行う。
補欠ゼロ	① 当たり前のように全員が出て、一人一人が成長していく。	「補欠ゼロ」の浸透不足(勝利至上主義)。	協会からのトップダウンで「補欠ゼロ」を浸透させる。 コンセプトが同じチームでフェスティバル(リーグ戦)を行う。
みんな Play!	② サッカーは一部上手い選手やアスリートのものだけではない。みんなとやるから楽しい。サッカーをする大切な仲間。勝ち負けを受け入れられる子どもになってほしい。色々な場所や仲間に参加できるストリートサッカーの場がある(トップやチームの垣根を超えて交流するサッカーの場を作る)。	レベルやモチベーションを落とさないように、高い目標を掲げた中で、コンパクトに指導する。	監督やコーチの下に、選手とのクッション役やケアをするスタッフがいないこと。また、指導者の指導要項に「補欠ゼロ」について導入すること。
JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー	③ どんな子どもたちでも参加できるリーグ戦がある。移籍が自由にできる登録制度がある。「補欠」という言葉の概念が変わっている。グラウンドを使いやすくするシステムがある。	勝利至上主義。 移籍のしにくさ。 場所の確保の難しさ。 出場時間の確保ができていない。	指導者の考え方を変える。 協会主導でリーグ戦の方法を考える。 グラウンド予約のシステムを変えて、場所の問題をクリアする(試合の機会が増加し、出場機会も増える)。
JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー	④ 勝利至上主義ではなく、育成主導主義である。「自律する人間を育てる」	選手が試合に向けて、考えもなく行動すること。	個人の身体能力ではなく、考える力を育てる方針にする。 個人への試合の役割や大切さを伝え、考え、行動させる。
障がい者サッカー	① 偏見について、間違いや勘違いがない。プレーできる環境がある(会場へのアクセシビリティなど)。	見る、知る、やってみる、触れ合う(友達になる)機会が少ない。周囲に効果的に発信する方法を知らない。	企業とのアイデア交換をして解決に繋げる。 学校の行事と障がい者サッカーを結びつける。
障がい者サッカー	② 地道な情報発信が行われ、理解が促されている状態。	指導者が少ない(障がい者対応のスキルがない)。 資金調達の難しさ(現在は、会費と助成金のみ)。 障がい者サッカーに関する情報が少ない。 使用できるまたは使用しやすいグラウンドが少ない。 県協会と現場の温度差。	JIFF版の47FAMミーティングを実施する(チーム、元プロ、大学なども巻き込めればよい)。
だれでも Join!	③ 「障がい者サッカー」というカテゴリーがなくなる。バリアフリーな総合スポーツ施設がある。	障がい者はスポーツ関係にアクセスすることが難しい(情報収集、施設利用の制限など)。	オープンでわかりやすい情報配信をする。 当事者からの意見を踏まえた運営や情報提供(見えにくい障がいの可視化)をする。 リソースの活用とそのためのネゴシエイト力を身につけている人を増やす。
JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー	④ 専門的な団体の情報が地域により広がっている。	障がい者スポーツ団体同士の連携が不十分である。	以下のサイクルを回して、多くの人が障がいの理解を深め、仲間を増やしていく。 【①ごちゃまぜサッカー、②障がい者サッカー体験、③障がいについて知る、④障がい者と繋がる、⑤仲間を増やす、①・・・】
JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー	⑤ いつ、どこで、サッカーができるのかをみんながわかる環境。	活動できる場所がない(他団体との予約の取り合い)。 施設側が障がい者サッカーを行うことに認めてくれない。	以下の方策を講ずる。 ①「ごちゃまぜサッカー」、②障がい者サッカー体験、③障がいについて知る、④障がい者と繋がる、⑤仲間を増やす、①・・・
JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー	⑥ 障がい者サッカーに対してサポートできる指導者が充実している。	選手と指導者のお互いの理解とコミュニケーションの工夫がない。	健全者・障がい者にこだわらず、一緒にサッカーを楽しんで、お互いに理解を深める。

テーマ別 活動紹介(引退なし)

卒業後もサッカーに携わる機会をつくる

札幌中央フットボールクラブ(北海道)



卒業後も子ども達と関わりながらサッカーを楽しめる場

札幌中央フットボールクラブは、卒業後にサッカーを続けられる場が無くなった(進学、部活動の環境等)選手に声をかけ、月に数回子ども達と一緒にチーム練習に参加してもらう機会を作っています。この機会を作ることで、競技としてのサッカーは一旦止まりますが、いくつになってもサッカーを楽しみ、何かのきっかけでサッカーを続ける、または競技として取り組むきっかけとなっています。

卒業後も指導者としてサッカーと関われる場

卒業後、前述のようにサッカーを楽しむながらも、指導者に関心を持つようになる選手もいます。そのような選手には、指導者として経験を積ませる機会を積極的に作っています。その結果、選手ではありませんが、指導者として活躍する夢の実現に活かされる事例もあります。また、こうした経験は色々な視点からサッカーを見る機会にも繋がっています。

「ゆりかごから墓場まで」生涯スポーツ・サッカーを体現

あざみ野キッカーズ(神奈川県)



決まった時間・場所でボールを蹴られる場が確保されている環境

あざみ野キッカーズは、『『ゆりかごから墓場まで』生涯スポーツ・サッカーを体現する』をチームコンセプトとしており、小学生から70歳代まで幅広い年齢層で構成されたチームです。本団体は、日曜祝日の9時にあざみ野第2小学校に行くと、必ずボールを蹴られる環境があります。卒業後も大人になっても、なじみの場になじみの人がいるので、自然と人が集まり、各々サッカーを楽しむことができます。

35年もの続く合宿

本団体は1983年に創設された当時から毎年継続している合宿があり、2018年度は35回目の合宿でした。この合宿では、30歳代から70歳代までが参加しました。また、本団体同様に20年以上も継続して参加している2チームも招待し、幅広い年齢層で合宿を行いました。大会形式で行われた合宿では、年齢順に4チームにバランス良く振り分けられ、短い時間の試合を何本もを行い、全員が試合を楽しみました。

テーマ別 活動紹介(補欠ゼロ)

グラスルーツの考え方を浸透させていく「補欠ゼロ」大会 見附小学校サッカークラブ(新潟県)



毎年続いているグラスルーツサッカーフェスティバル大会

見附小学校サッカークラブは、毎年「補欠ゼロ！全選手参加！」を目的としたサッカーフェスティバル大会を開催しています。本大会では、大会前に必ず全ての参加チームの指導者に、グラスルーツの考え方についてご理解いただいた上で行われています。

グラスルーツの考え方の浸透

本大会を何度も開催していく中で、参加チームの指導者は、「グラスルーツの大会は子ども達にとって将来に繋がる大きな意味と価値がある大会である」認識が年々強くなってきています。また、グラスルーツの大会そのものが、子ども達や地域にとって大きな存在価値になり、地域に根付いてきています。継続的にグラスルーツの大会を開催していく中で他チームにもグラスルーツの大切さが伝わっていく一つの好事例です。

「補欠ゼロ」に賛同する園同士のサッカー大会 社会福祉法人 純心会 まるくこども園(青森県)



保育園や認定こども園による「補欠ゼロ」の大会

まるくこども園は、13年前から2園によるサッカー交流会をスタートさせました。その後、「補欠ゼロ」の取り組みに賛同した園が集まり、「友情杯サッカー大会」が毎年2回、開催されるようになりました。そして、現在は7園が集まり、4～5歳の子ども達が約150人参加する大きな大会になりました。

みんなが試合をするからこそ、心身の成長に繋がる

小学校就学前の子ども達の心身の成長を考慮した本大会は、性別、障害、運動の得意不得意に関わらず、全員に出場機会を与える「補欠ゼロ」を具現化したサッカー大会です。また、本大会は、倒れた子どもに手を貸すフェアプレーが見られたり、年中児が年長児に憧れてサッカーに対する意欲が増すなど、サッカーを通して子ども達の心身の成長に繋がる大会にもなっています。

テーマ別 活動紹介(障がい者サッカー)

All Mix Football

FCプログレッソ(岐阜県)



助成金を受けてイベント開催

FCプログレッソは、第4回All mix Footballを開催しました。本イベントは、障がい者と健常者が交流する場として他者との理解を深め、より障がい者サッカーを身近に感じてもらい、競技者の発掘に繋げることを目的として開催され、約100名が参加しました。また、本イベントは、岐阜県障がい者スポーツ普及・促進事業助成金を受けて開催されました。

子ども達に障がい者と一緒にサッカーしてもらうために

小学生から大人まで幅広い年齢層の方が参加した本イベントでは、障がい者と健常者の混成チームを作ってゲームを行いました。障がい種や程度に関係なく、誰もが生き生きと楽しみながらボールを追いかける姿が広がっていました。FCプログレッソは、健常の子ども達に障がい者サッカーを知ってもらい、更に一緒にサッカーをする機会を提供するために、各地域で同じようなイベントを開催することを計画しています。

ユニファイドスポーツフェスティバル

テゲバジャーロ宮崎(宮崎県)



サッカー協会と共催されたフェスティバル

テゲバジャーロ宮崎は、宮崎県サッカー協会と共催にて、「ユニファイドスポーツフェスティバル」を実施しています。ユニファイドとは「障がいの有無を超えて一つになる」という意味であり、誰もが当たり前スポーツを楽しめる環境の提供を目的としたフェスティバルです。障がいや性別、年齢の違いなどに関係なくグループを組み、互いの個性の理解を深めながらゲームをし、2日間で延べ約200名が参加しました。

ルールを統一することで楽しめる

2日間にわたって開催された本フェスティバルは、1日目は障がい等に関係なくチームを分け、2日目はアンブティ、知的障がい等のようにカテゴリー毎に分けてゲームを行いました。障がい者サッカーは、ルールを統一することで障がいや性別、年齢等に関係なく、多くの人と一緒に同じ目的のための時間を共有できるため、すぐに仲間になることができる可能性を秘めています。

活動紹介(ウォーキングフットボール)



歩くサッカー

ウォーキングフットボール(ウォーキングサッカー)とは、現在イギリスを中心に急速に愛好者が増えている「歩くサッカー」です。イギリスでは、50歳以上の人達によるクラブが1,000近くにもなり、その数はどんどん増えています。多くの高齢者の人達が楽しんでいます。高齢者だけでなく子どもからお年寄りまで、障がいの有無も関係なく、サッカー経験も問わない、誰もが楽しめるスポーツです。ウォーキングサッカーのルールは、誰もが楽しめ、怪我をしないようにするために、基本的なルールは次のとおりです。

- ①走らない(速歩きはOK)。
- ②チャージなどの接触禁止。
- ③ヘディング禁止、人の頭より高いボールを蹴ってはいけません。

参加者、場所、ボールなどによって、ルールを作ったりと調整して、誰もが楽しめるようにすることで誰もが楽しめるようになります。



日本でも全国各地でウォーキングフットボールが行われています

近年、日本でも全国各地でもウォーキングフットボールが広まり、賛同パートナーでもJクラブから地域の団体まで様々な団体がウォーキングフットボールのイベントを開催しています。

清水エスパルス(静岡県)では、大人対象のイベントを開き、またローカルルールとして「オレンジカード」を導入したりもしています。「オレンジカード」には「グッド!」「スマイル!」「エンジョイ!」と書かれており、「満面の笑顔」「仲間と喜びあう」等、心から楽しんだ人に出されて、プレーをより盛り上げるルールとなっています。

横浜F・マリノス(神奈川県)では、障がいのある人や高齢者、そしてプロサッカー選手が1つのピッチで楽しんでいました。

トライサッカークラブ(東京都)では、蹴り納めとして「親子ウォーキングフットボール」が行われ、親子で真剣な勝負が繰り広げられました。

ウォーキングフットボールの持つ可能性

ウォーキングサッカーは、性別、年齢、障がいの有無、サッカーの経験の有無に関わらず、誰もが1つのピッチで一緒にボールを蹴ることができます。高齢者にとっては、ずっと歩き続けるため、無理なく楽しみながら身体を動かし、健康増進に繋げることもできます。また、過疎地では、地域の人々が集まる1つの重要なコミュニティとしてウォーキングサッカーが導入されています。このように、多くの可能性をもったウォーキングサッカーは1つの魅力的なスポーツとして今後も広がっていくことが期待されています。

賛同パートナーの声

※一部抜粋



賛同パートナーから普段の活動における課題やJFAに対する要望などのご意見をいただきました。代表的なご意見として、「補欠ゼロ」や「障がい者サッカー」における課題、活動場所の確保の困難、人材不足、情報配信、他団体とのネットワーク作りなどのご意見がありました。

「補欠ゼロ」における課題

「補欠ゼロ」は選手全員が試合に出場できる良い取り組みの一方で、選手間やチーム内での雰囲気悪さに繋がったり、周りへの理解が浸透していないため、「補欠ゼロ」に取り組みにくい課題があります。

【選手の意識】プレー時間の確保のために2チーム編成を行う際、レベル別によるチーム編成を行った場合に2チームに「疎外感」や「あきらめ感」を持ってしまう選手が出てきた。個別面談で対応し、本人へのフォローを行っている。また、能力均等割のチーム編成を行った場合には、思うような結果が出なかった時に「あきらめ感」を能力の高い選手が持ってしまう、「試合出場で満足している」選手と「勝負にこだわりたい」選手との意識の差からチームに閉塞感がでてしまったりすることがあった。グループミーティングや個別面談で対応し、本人たちへのフォローを行っている。その結果、チームワークが高まった年代も出てきた。

全員を出場させると、他チームに比べてどうしても一人あたりの試合経験時間数が少なくなる。8人制の推進は良いことだが、出場者が11人から減ったことで出場機会がより少なくなった、という現象もある。同一大会に一団体から複数チームの出場という形もある得るが、都市部のグラウンド不足の状況では一団体あたりのエントリー制限もあり、8人制が加えて出場機会の減少を招いているという現実もある。

全員を試合に出すことで結果が伴わず、少なからず良いと思わないご家庭は不満を抱え、結果を出すチームを選ぶ傾向があり移籍する。それに伴い、チームメイトが離れ離れになったりし残された子供達は悲しい思いをする。

登録した全選手を出場させるために2チーム登録する場合、便宜上AチームとBチームに振り分けが行われます。Bチームに登録された選手(保護者)はAチームに入れなかった思い、落胆する方も居られます。クラブとしては出場機会の確保を目的としておりますが、その理念が浸透するまでには、まだ時間が掛かりそうです。

所属団員が年々減少しつつあり、高学年の試合に低学年も出場しなければならなくなり、補欠ゼロのテーマには沿ってはいるがレベル差があり低学年にとっては厳しい環境になりつつある。

周辺チームとの考え方に隔たりがあり、みんなプレイを行っているチームは勝利がなかなか難しく勝てない事で自信が得られない場合があるので、もどかしい時もあります。

長崎県は、グラスルーツ推進・賛同パートナークラブが当クラブのみである。大会など参加すると、相手クラブは選手交代がないこともよくある。こども達のため、大会規定にクラブ所属選手や登録全選手出場など条件付けるなど、工夫があってもよいと思う。

JFAから積極的に、全員プレイやノーコーチング等を主旨の大会を開催して頂けると少し4種も良い空気になるかなと思います。

賛同パートナーの声

※一部抜粋



活動場所の確保の困難

施設予約の難しさや活動場所の数の少なさのために、活動ができない課題があります。

グラウンドなどの活動場所が小学校などに限られ、時間や既得権で新規団体が使えないなど、依頼されたチームに依存するところが多く、当方で主体的に動きが取れない。
シニアチームが今後増えると思いますが、それに対応できるグラウンドの確保が課題となると思う。
学校施設の解放に関する提言や利便性を上げる取り組みをしてほしいです。
盲学校を拠点に土曜日に活動を定期的に行なっているが、盲学校の児童生徒へのつながりを制度上持つことが難しい。具体的に、盲学校は週末の施設利用の場合、東京都教育委員会の施設という取り扱いとなる。そのため、施設利用においては名簿を提出しなくてはならない。しかしながら、児童生徒が名簿にすぐ記載するのはできず、クラブへの体験を踏まえた上で行いたいのが制度のため解決策がなかなか見当たらない。

人材不足

チーム内で指導者や審判ができる人の人数が少なく、チーム活動の継続や大会開催が難しい課題があります。

指導者不足に悩んでおります。現状はボランティアで運営しておりますので、若い人材を確保することが非常に難しい状況です。
抱えている課題は、指導者・ボランティアの後継者不足です。活動開始から14年目になり、当初からのメンバーと新しいメンバーは共に、このサークルを活動の場所として大事に思ってくれています。そんなメンバーのために、この活動を継続していくことこそがグラスルーツ宣言の具現化につながると分かっているので、メンバーの保護者に指導者として関わっていただいたり、今後地域の大学生にも声掛けをしてゆく予定にしているのですが、現状では課題解決にはまだ至っていません。
大会を開催するにあたり、レフリーの不足は深刻です。JFAに登録しているレフリーの方々が我々のようなアマチュア大会にも参加できるような仕組み作りがあるとありがたいです。

「障がい者サッカー」における課題

クラブ単体での活動の場合、資金・人材不足、事務作業の負担によって、活動に制限が生じ、障がい者サッカーの普及等に繋げにくい課題があります。

CPサッカーは単体でのイベントをするにあたって(特に地域団体・クラブでは)、資金面で難しいと感じています。私どもが法人化して良かったことの一つは、助成金申請がしやすくなったことだと思う一方で、事務作業の負担は増大しており、今後の課題の一つです。
障がい者サッカーについてJIFFなど専門の団体との繋がりをもちたい。各クラブ単位だと普及活動に限界があると感じる。
障害のある方、女性、高齢の方など、誰でも参加できるという交流を目的としたフットボールの交流できる場はまだ多くはありません。また中核的なスタッフの確保、会場の確保、クラブチームの運営資金の課題などがあげられます。地域に密着しニーズを丁寧に聞き取り、形に結び付けるにはまだまだ多くの労力が必要です。大阪府サッカー協会は意欲的に障害者サッカーの支援を継続いただけているため、今後も連携していきたいです。課題はありますが、日本サッカー協会・大阪府サッカー協会が旗を振っていただきながら依然と比べメディアの露出や話題になることも格段に増え、浸透度が増している印象です。継続し支援いただきたいと考えています。障害者サッカーに関してはそれらを一つのスポーツとして触れて楽しむというところにおいては、成人より子どもの方がハードルは低く、その経験が包摂的な社会を創っていく礎になると感じています。子どもの頃から障害があってもサッカーを通し健康的な面に触れる機会を増やしていただきたいです。また中核的な人材の育成として、地元での障害者サッカーという分野以外との人材交流(審判やコーチスタッフ)や意見交換できる場(サッカークラブとして当たり前の意見交換できる場)が増えれば障害者サッカーの普及啓発が更に促進されると感じています。
障害児のチームの交流試合をしたいが、移動などの課題があり交流戦が実現できない。

賛同パートナーの声

※一部抜粋



情報配信

現場への理解や浸透に繋げるために、グラスルーツ推進に関する情報配信を希望するご意見をいただきました。

「みんなPlay!」について、勝利至上主義の方など、指導者や保護者それぞれの意識の違いがある。クラブでサッカーカンファレンスなどの勉強会を開催してもまだまだ理解が少ないので、正しい知識や将来を見据えたサポートの仕方について情報発信を定期的に行い、周知していく必要があると感じています。
カンファレンス等をもう少し頻繁に行って欲しい。もっと世の中に周知して欲しい。
やっていることはすごいこと、良いことと言われるものの、周囲の協力体制等が万全であったり、具現化までの理解をしてもらうことが容易でないため、更に理解協力してもらうための広報周知等が必要と感じている。
勝利至上主義の問題でサッカーに色んな問題が出てきている。是非、「スポーツの持つ魅力や素晴らしさ」を取り上げてほしいと思います。身近なスポーツの場の素晴らしさとは、勝つこと以上に大切なものもあることを紹介してほしい。グラスルーツを推進するための相談コーナー等があっても良いのではないのでしょうか？
サッカーの試合に出ることを第一目標にはしていなくても、サッカーを通してプレイヤーの人生をより良くしようとしている団体もグラスルーツにいることを、知っていただきたいです。
イベント表彰などもっと活発的にしてほしい(事例がわかる)。
単独のクラブだけではなく、地域が協力して一般の方々にこの取り組みを知ってもらう機会を作るべきだと感じています。活動報告や告知などメディアなどを利用して大きく取り上げられる仕組みをどう作るかが、素晴らしい環境に繋がっていくと考えます。
認定を頂きチーム内に発信(保護者達)し易く理解を得易くなった事に感謝いたします。この認定を地域・公共機関に理解して貰えるように認知が上がる事を希望します。

他団体とのネットワーク作り

団体同士のネットワークを作り、他団体との連携や情報交換をしたり、グラスルーツ推進に繋げたいご意見をいただきました。

イベントをはじめ、指導や育成などの情報の共有と各種目団体との連携をはかっていく機会やネットワークの具現化が必要だと感じています。
グラスルーツ宣言を具体的に実行するために、これからも様々な取り組みを展開する所存ですが、クラブ責任者同士のミーティングや情報交換の場があれば、ありがたいです。サッカーは専門でも、人に対する関わり部分は、非常に参考になる可能性が高いので、一度招集をかけていただければ、設営協力は致します。
賛同パートナー同士の情報共有や連携しあえるような環境も必要ではないかと思えます。

賛同パートナーの声

※一部抜粋



その他

啓発活動の一つとして、バナーをつくっていただけませんか？特に静岡県はチーム数に比べ賛同パートナーが少ないと思います。例えば「みんなPlay！」などは試合会場にバナーを掲げることで啓発になるのではないのでしょうか？後は、非現実的な話とは思いますが、全日本少年サッカー大会をすぐにでも無くすべきだと思います。

アピールの為、グラスルーツステッカーやグラスルーツフラッグの配布を行ってはいかがでしょうか。

ステッカーなどがあると施設やクラブハウスに張ることができてクラブのアピールになると思います。

それに賛同し活動しているクラブが認知されるようにエンブレムなどをユニフォームに貼れるような仕組みがほしい。

サッカー協会主催、都道府県協会主催の大会参加費の割引、協会登録費免除など、目に見えるメリットがあると普及するかもしれないと思う。多くのサッカーが好きな選手のために、分かりやすいインセンティブを設けて、指導者の意識を改革を図ってもよいと思う。ただし、適正な評価が必要と思う。また、JFA指導者講習会だけでなく、講習会に参加できないチーム指導者およびそのチームの種族選手のためのインストラクターの巡回指導など、指導者が学ぶ機会、意識を変化できる機会を作してほしい。変化が必要な指導者ほど、新しいことを嫌がるので、JFA登録チーム指導者や監督が必須で学ぶシステムを構築してほしい。

全国大会で162名の選手が登録されながら出場できなかったというニュースを見ました。勝負事なのでより勝てる可能性がある選手を出したいという監督やコーチの気持ちもわかりますが、出場できなかった選手の気持ちを想うと残念なニュースでした。全国大会へ出場するようなチームなので、監督やコーチへの保護者からのプレッシャーも非常に大きいものがあるのでそのチームを否定するつもりはありません。ただそのような判断をさせてしまうような大会であれば全国大会を一度無くしてみるのも一つの方法だとは感じました。

日頃より、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度にご協力いただいている皆様には、心より御礼申し上げます。本制度を始めて3年目となった2018年度は、21団体が新たに賛同パートナーとして加わり、3年間で181団体が賛同パートナーに認定されました。

137団体からのアンケートを集計した結果、「賛同パートナーに申請した時の活動目標を達成できたと思う」、「賛同パートナーになり、団体の活動充実につながったと思う」、「グラスルーツ宣言の趣旨が周囲に浸透していると思う」という団体の割合が昨年度よりも高くなり、本制度が賛同パートナーの活動に貢献できていることを嬉しく思います。

2018年度では、「JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーカンファレンス」を初めて開催しました。本カンファレンスでは、グラスルーツのサッカー環境を良くしていきたい方々が集まり、各テーマの事例や情報等を共有しました。本カンファレンスを通して、グラスルーツ現場の声を直接伺うことができたことは1つの大きな収穫と考えています。また、だれもが楽しめるスポーツの1つであるウォーキングフットボールの活動が、2017年度までと比較して多く報告されるようになり、グラスルーツ推進が少しずつ広まっていることを感じています。

3年間限定で始めた本制度ですが、これまでの活動を振り返ると、JFAがグラスルーツの現場と双方向で繋がることのできる制度となっており、グラスルーツ推進活動の情報収集及び情報発信に寄与していると考えます。よって、2019年度も本制度を継続し、引き続き賛同パートナーを増やして、「JFAグラスルーツ宣言」の具現化に繋げていきたいと思えます。

最後になりますが、今後ともグラスルーツの発展に向けて、共に取り組んでいただきたく何卒よろしくお願い致します。

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



「引退なし」活動報告

札幌中央フットボールクラブ(北海道)

①タイトル: 卒業生の積極的な参加

開催日/期間: 2016 年～現在

場所: 札幌市立資生館小学校、北海道郵政研修センターほか

対象: 過去にチームに在籍した卒業生選手

参加者数: 月3～5名程度

内容: 卒業後、サッカーを続けたかったが続けられなかった(進学、部活動の環境等)選手に積極的に声掛けを行ない、月に数回、各個人によって差はあるが参加してもらい、子どもたちと一緒にサッカーに関わる機会を作る。競技としての継続はいつんとまることになるが、サッカーの楽しさや難しさを伝える身近な存在のお兄さん、お姉さんとして、特に始めたばかりの低学年組には遊びながらの延長上で関わることにより、本人も継続できなかったことよりも楽しめる場が元々在籍したチームにあることを認識し、参加してもらうことでまたどこかのきっかけで競技を含めサッカーに取り組む姿勢をもてるようにしています。

②タイトル: 卒業生からの指導者育成

開催日/期間: 2018 年 4 月～現在

場所: 札幌市立資生館小学校ほか、活動場所にて

対象: 過去にチームに在籍した卒業生選手

参加者数: 1 名(高校 1 年生女子)

内容: 卒業生の関わりをこれまでも持たせていたが、その中でも中学校の 3 年間部活動には在籍できず、スクール等で活動していきながら高校進学時には推薦にてサッカーを続けることが出来た選手があり、同時に子どもたちの指導にも興味を持ったため、チームとして継続的に関わられるように部活動の OFF 日がチームの活動日でもあったため、毎週水曜日の平日練習時に指導者として参加。練習試合を含め大会なども自身の部活動と重ならない時は活動し、積極的に審判活動も行うようになる。結果自身のプレーへの気づきにもなり、育成を通じて本人の技術的な向上にもつながり、相乗効果がでています。

③卒業生だからといって活動に参加させるのではなく、将来的な展望を持った選手と話を深めていく過程の中で、指導者に向いている、または指導を行う立場を経験することで将来的な本人の夢ややりたい職業に活かされると感じることがあったら、積極的に参加させることが結果的に本人にとってもチームにとっても好事例や気づきにつながるが多かったです。そのためにも指導者は在籍中から本人の特性や性格をよく知る、見る、観察することで適宜アドバイスを繰り返していくことが卒業後でも話が入りやすく、親身になれるのでより積極的に活動参加しやすいと思います。

シーガルサッカークラブ(北海道)

①開催日/期間: 6 月、9 月、1 月

場所: モエレ沼公園、札幌ドーム屋外人工芝、石狩 B&G 海洋センター

対象: 全カテゴリーのメンバーの保護者及びスタッフ

参加者数: 合計約 25 名

内容: 各カテゴリーごとの親子サッカーゲームや親同士のゲームを実施。

②開催日/期間: 2019 年 3 月 16 日

場所: 北海きたえーる

対象: 知的障がい者部門のメンバーの保護者およびスタッフ

参加者数: 5 名

内容: 初開催となった「ファミリーフットサルフェスティバル」の「障がい児、部門へ参戦。2 家族を中心にチームを編成し、お父様お母様方にも初めてフットサルの大会を経験していただきました。

③週に 1 回のペースで実施している「知的障がい者部門」の練習において、お父様お母様方 5 名が一緒に参加してボールを蹴って楽しむ様になっており、また「レディース部門」においても 30 歳代～40 歳代の方々が余暇を利用して毎月フットサルを楽しんでおります。

VOCK 大崎レディースフットボールクラブ(宮城県)

①タイトル: JFA なでしこひろば in VOCK 大崎 LFC

開催日/期間: 2018 年 11 月 11 日

場所: 築館総合運動場

対象: 女子小学生から一般女性

参加者数: 40 名

参加者数: 20～30 人

内容: サッカーの基本技術、ボールと仲良くなるを目的として、午前(小学生)午後(中学生以上)と分けて開催しました。多くの方に参加していただき楽しくサッカーにふれてもらえました。次回開催も参加したい子達が多くいました。定期的に開催できるように努力したいです。

SendaiForza(宮城県)

①タイトル: 日常の練習

開催日/期間: 毎週土曜日

場所: 宮城教育大学グラウンド

対象: 療育手帳を持つ中学生以上の方及び Forza を応援して下さるサッカーが好きな方々

参加者数: 20～30 人

内容: 選手の実態に応じたグループピングをした上でトレーニングに取り組んでいます。年齢を重ねても選手が自分自身の体力と技術に合わせてサッカーを楽しむことができます。

特定非営利活動法人まきばフリースクール(宮城県)

①タイトル: 週 1 回の練習・フットサル大会(MKB CUP)の主催

開催日/期間: 毎週木曜日・11 月 3 日

場所: 瀬峰体育館・グリーンピア岩沼

対象: 不登校・ひきこもり・発達障がい・社会的養護の子ども・青年

参加者数: 200 名程度

②上記の活動に追加して、毎週月曜日夜の練習を行った。月曜日の練習を強度の高いものとし、木曜日を参加しやすいゆるやかなものにして、どのような状況の子ども・青年も参加しやすく、続けやすいものとなるよう意図しています。

特定非営利活動法人ブテュナイテッドアスリートクラブ(山形県)

①タイトル: 山形県フットサルリーグ登録選手全員参加

開催日/期間: 2011 年 5 月～

場所: 山形県内各地区

対象: 当クラブ山形県フットサルリーグ加盟登録選手

参加者数: 年間 12 名位

内容: 当クラブで加盟している山形県フットサルリーグ参戦チームは、加盟当初から 16 歳～50 歳代までの登録選手があり、現在も同じ年齢層で加盟参戦し、全員が出場しています。

②タイトル: 誰でもフリーフットサル

開催日/期間: 2018 年 4 月～

場所: 山形市内の小学校体育館

対象: 小学生以上、年齢性別、経験問わず

参加者数: 1 回 10 名位

内容: 毎週水曜日に開催し、小学生以上であれば、年齢性別、経験を問わず、みんなで楽しむ enjoy フットサルを行っている。スポ少や部活動に入れない児童生徒のみならず、経験者や 50 歳を超えた参加者も多数おり、毎開催参加者や家族での参加もいます。山形県フットサルリーグ登録選手では、ある程度の年齢に達すると引退する選手がいる中、年配者ががむしゃらにプレイする姿に触発され、他チーム選手でも継続する選手が増加し、熱い思いを良い方向で蔓延させています。

茨城県知的障がい者サッカー連盟(茨城県)

①タイトル: ほほえみカップサッカーチャンピオンシップ大会

開催日/期間: 予選: 平成 30 年 9 月 17 日(月・祝)

決勝: 平成 30 年 10 月 8 日(月・祝)

場所: 笠松運動公園補助陸上競技場・球技場(ひたちなか市大字佐和 2197-28)

対象: 小学生から 65 歳まで

参加者数: のべ 470 名

内容: 9 月 17 日(月・祝)に、笠松運動公園補助陸上競技場・球技場で行われた予選リーグは、チャンピオンブロックが 8 チーム、フレンドリー・アグレッシブブロックが 12 チーム、フレンドリー・エンジョイブロックが 8 チームの合計 28 チーム、270 名が出場しました。試合はリーグ戦形式で行い、近年のレベルアップの成果もあり、接戦の試合も多く、サッカーの勝敗はもちろん、相手との駆け引きを楽しむ様子も見られるようになってきました。10 月 8 日(月・祝)に予選と同じ会場で行われた決勝トーナメントは、予選リーグを勝ち上がったチャンピオンブロック 6 チーム、フレンドリー・アグレッシブブロック 8 チーム、フレンドリー・エンジョイブロック 6 チーム、合計 20 チーム 200 名が出場した。決勝ステージにふさわしい戦いが繰り広げられ、チャンピオンブロックでは昨年度優勝チームの境 FC を下して日立特別支援学校 A チームが優勝。フレンドリー・アグレッシブブロックでは結城 FC が 2 連覇を飾った。また、フレンドリー・エンジョイブロックは、小学生もメンバーにいるバンクルサッカースクールが初優勝を飾りました。

②ほほえみカップサッカーチャンピオンシップ大会での取り組み

今大会からフレンドリーブロックを、試合結果にこだわらぬアグレッシブブロックとサッカーの試合を楽しむエンジョイブロックの 2 つに分け実施しました。施設やクラブチームの高齢化や学校の部活でも中学部の生徒から参加している学校等もあり試合に参加する、サッカーを楽しむことに主眼を置いたブロックを創設して欲しいという要望を実現し、実施したところであります。最後に、9 月 17 日の予選リーグにおいて、今回 25 回目を迎えるほほえみカップに第 1 回から出場している 2 名の選手と、65 歳で現役選手として出場している 1 名の選手、合計 3 名の選手と第 1 回から出場している 1 チームを連盟特別表彰という形で、参加者全員が見守る中セレモニーを行いました。生涯スポーツとしてのひとつの選択として、サッカーを楽しむ選手やチームを表彰することで、学生選手や若い選手のはげみになればと考えたものであります。

蹴球団藤岡キッカーズ(群馬県)

①タイトル: 社会人サッカー

開催日/期間: 4 月～3 月

場所: 県内各地

対象: 1 種年代

参加者数: 30 名位

内容: 社会人サッカーチームを組織し、地域の仲間がサッカーを続けられる環境を継

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



続いています。

FC REAL(埼玉県)

- ①タイトル: 爽やか個サル
開催日/期間: 毎週日曜
場所: デサフィーオふじみ野
対象: 18 歳以上
参加者数: 30 名前後
内容: 誰でも楽しく参加できるフットサルゲーム
- ②タイトル: ママさんクリニック
開催日/期間: 不定期
場所: デサフィーオふじみ野
対象: FC リアルの保護者、友人(女性)
参加者数: 20 名
内容: 女性だけで楽しくサッカーに触れ合う。簡単な練習とゲーム。

NPO 法人浦和スポーツクラブ(埼玉県)

- ①タイトル: スーパーシニアサッカー広場
開催日: 毎週木曜日午後
場所: さいたま市駒場スタジアムサブグラウンド
対象: 60 歳以上
参加者数: 30~40 名
内容: 練習とゲーム等

寄居サッカークラブ(埼玉県)

- ①タイトル: 寄居スペトレ
開催日/期間: 毎週水曜日
場所: 埼玉県大里郡寄居町立寄居小学校
対象: 老若男女問わず
参加者数: 30 人
内容: サッカーのトレーニング及びトレーニングマッチ
- ③月に1回4種女子の地域トレセンを実施
月に1回4種女子と共にトレーニングをしたことによりお互い新鮮なトレーニングになりました。

白岡市サッカー協会(埼玉県)

- ①タイトル: シニアリーグ
開催日/期間: 10試合以上/年
場所: 鷲宮運動広場 フットボールセンター(旧騎西高校) 白岡市総合運動公園 他
対象: 35歳以上
参加者数: 6チーム 約70人
内容: シニアサッカー ソサイチ 8人制

浦和グランパワーズ(埼玉県)

埼玉県シニアリーグ参加、選手権参加、ねんりんピック(富山大会)参加
在籍人数50名

南中野ダックス F.C.(埼玉県)

- ①毎週日曜日さいたま市日大グランドダックス卒団者、父兄参加にて団員とゲームをする。参加者 10~15 名
- ②ママさんサッカーの実施、サッカーの基礎練習や子供達との練習試合、参加者 5~10 名
- ③日大の空き地を借りて練習しているが、雑草もあるが芝生の種をまき自慢の芝草グランドになりました。

LIVRO 白岡 SoccerClub(埼玉県)

- (1)①タイトル: Bomdai サッカー教室
開催日/期間: 春休み、夏休み、長期連休
場所: LIVRO グランド(自施設)
対象: 誰でも(年少さん~大人)
参加者数: 各期間延べ150名前後
内容: 朝7時から集まったみんなでボールを使って身体を動かし、最後はゲームを楽しんでいます。
- (2)①タイトル: ナイターリーグ(私設リーグ)
開催日/期間: 毎月第2土曜日
場所: ざっくろドーム/LIVRO グランド
対象: 小学生~高校生・大人
参加者数: 毎回40名前後
内容: フットサルサイズのゲームを当日集まったチームで行います。勝敗は記録せず、日頃の成果、成長の経過の視覚化が目的です。

鶴ヶ島ブルーウィングスサッカー少年団(埼玉県)

- ①タイトル: フットサル
開催日/期間: 不定期

場所: フットサル場・体育館

対象: 父親

参加者数: 約 15 名

内容: サッカー経験者が多く集まりボールを蹴る

②タイトル: 卒団生のフットサル参加

開催日/期間: 毎週土曜日(会場都合にもよる)

場所: フットサル場・体育館

対象: 親父・卒団生(中学、高校、大学、社会人)

参加者数: 約 25 名

内容: 親父参加も未経験者であったり、卒団生は中学校にサッカー部が無い、高校生では厳しい中ではやりたく無い、大学生・社会人ではたまたまボールを蹴りたくなる、などの理由で集まってくる。

③卒団した子供達のお父さんがコーチに残りフットサルにも来るので、卒団した子供達も知った顔があると来易い、お父さんコーチも成長?した子供達を見るのが嬉しいと言っています。

TODOS UNIDOS(千葉県)

開催日/期間: 通年

場所: 千葉県柏市、松戸市、八街市、酒々井町

対象: 子供から大人まで

参加者数: 1 日 10~20 人ほど

内容: サッカースクールやサッカー大会

ドリームチャレンジフットボールファン(千葉県)

『なでしこひろば』にご家族でご来場の男性方が、空きスペースで自然にサッカーが始まるようになりました。パパさんも「久しぶり」から「定期的に」へと変わっています。『なでしこひろば』のリピーターにもつながっています。

2018.2.16

『なでしこひろば』

千葉県白井市南山公園グラウンド

参加者

女性11名(大人5名、小学生5名、幼児1名)

男性9名(大人3名、小学生6名)

ATLETICO 君津(千葉県)

①タイトル: レディーススクール

開催日/期間: 毎週火曜日

場所: 翔凜学園

対象: 女性

参加者数: 20名

内容: フットサル

②タイトル: ボール教室

開催日/期間: 毎月第4週目火曜日

場所: ながらこども園

対象: 園児

参加者数: 40名

内容: 種目横断的なボール遊び教室

③タイトル: ボール教室

開催日/期間: 毎月第1週金曜日

場所: みやまのさくら保育園

対象: 園児

参加者数: 50名

内容: 種目横断的なボール遊び教室

ボール教室

理由 サッカーだけでなく様々なスポーツにつながる要素や動きができるので、生涯スポーツにおいて、子供はもちろんシニア世代にも取り入れられるものだと思います。

NPO 法人ゼロスポーツコミュニケーション(東京都)

- ①ジュニア、ジュニアユース年代に運動の得意不得意にかかわらず、体を動かすことの楽しさを知ってもらうための、スクール活動実施。地域少年サッカーチームへのコーチ派遣。
- ②保護者向けにサッカーを続けていくための、スタートになるセミナー。
- ③単独チームにこだわらず、コーチ派遣やセミナー開催などによる、育成年代へのアプローチ多面的(指導、指導方法、食育、保護者向け)に行うことができます。

ApreDiver(東京都)

①タイトル: 親子サッカー

開催日/期間: 不定期

場所: 鎌田小学校

対象: チーム選手、保護者

参加者数: 80

内容: チーム活動の中で不定期に親子レクとしてサッカー、ウォーキングフットボール、靴飛ばし大会などを行なっています。

③ウォーキングフットボールを行った事で参加に消極的だった方の参加が増えたよう

各団体 2018 年度活動報告

場所:しもあおベース
対象:遊びに来ている子供達
参加者数:50人位
内容:自由に遊んでいるところを取材されました。

曙フットボールクラブ(愛知県)

①タイトル:普段の活動
開催日/期間:年間を通して
場所:碧南市内G
対象:キッズ~大人(男女問わず)
参加者数:10~20
内容:誰でも参加出来る環境の提供
③年齢を越えたコミュニティの形成が出来ています。

NPO 法人 GranArbol スポーツクラブ(愛知県)

①タイトル:親子フットサル
開催日/期間:2019年2月10日
場所:豊明中学校体育館
対象:小学生とその保護者
参加者数:50名
内容:親子でフットサルを楽しんだり魅力に触れる場として。親子で同じスポーツを共有する事で普段とは違うコミュニケーションが生まれます。

特定非営利活動法人 JOAN スポーツクラブ(愛知県)

①タイトル:JOANサッカースクール
開催日/期間:通年
場所:安城市内グラウンド
対象:KIDS~小学生
参加者数:60名
内容:サッカーを勝ち負けではなく遊びや楽しさを重視したスクール活動をしています。

七里御浜 FC(三重県)

①年間2回程度のサッカーイベント
団体内の選手、保護者、家族を含めたサッカー大会
対象者:男女、年代を問わない
参加者数:全体では40名程度
2018年度に新たな活動は行いませんでした。2019年度は何か考えて実施したいと思っています。
③グラウンドも土ではなく、天然芝や人工芝で行うことで参加者のテンションも上がり、また安全性も確保できると実感しました。

ベルナサッカークラブ(三重県)

①タイトル:初蹴り
開催日/期間:1/3
場所:三重県三重郡菟野町大羽根運動公園
対象:60歳~6歳
参加者数:約90人
内容:OB、保護者、現役選手、チームにかかわる全ての人が集合してゲーム
タイトル:菟野町サッカー祭り
開催日/期間:4/29
場所:三重県三重郡菟野町大羽根運動公園
対象:60歳~6歳
参加者数:約200人
内容:ジュニア、ジュニアユース、ユース、トップ、Over30、Over40と各年代ゲーム
③毎年同じ日に活動することで、みんなが予定しやすく集まりやすいです。

IGS ユニバーサルスポーツクラブ(岐阜県)

①タイトル:IGS ジュニアサッカースクール
開催日/期間:毎週土曜日
場所:河川環境楽園かさだ広場
対象:幼児、小学生
参加者数:10~20名
内容:サッカースクール
タイトル:赤い羽根チャリティ グラウンド・ゴルフ大会
開催日/期間:年間3回
場所:県内各地
対象:50代以上の高齢者
参加者数:300~400名
内容:グラウンド・ゴルフ大会

NPO 法人 BIWAKO SPORTS CLUB(滋賀県)

①(1)世代を超えてサッカーを楽しめる機会の創出
・「Enjoy Football Day!!」
4月21日 びわこ成蹊スポーツ大学多目的グラウンド(人工芝のフットサルコート)に

各団体の番号の見方

- ①2018年度より前から継続している活動
- ②2018年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



て Enjoy Football Day!!を開催致しました。内容は地域の皆さんやクラブに関わる皆さんがサッカーを通して交流を深め、年齢・性別関係なくサッカーを楽しみましょう!というものです。集まったメンバーでルールやチームを決めてサッカーの試合を「楽しむ!」ことを目的に開催しました。参加者は10名(子ども4名・大人6名)でした。

・「クラブ初蹴り」
2019年1月5日 びわこ成蹊スポーツ大学多目的グラウンド(人工芝のフットサルコート)
クラブのメンバー60名が集まり、みんなで試合を楽しみました。1つのことに夢中になってピッチを走り回ることができました。

(2)フットサルリーグの開催
・BSC フットサルカップの開催
12月1日(土)

びわこ成蹊スポーツ大学多目的グラウンド(人工芝のフットサルコート)
参加者60名
地域やクラブと繋がりがある6チームでフットサルリーグを開催しました(BSC シニアチーム、大学教職員チーム、サッカー指導者チーム、市役所チーム、隣地域のシニアチーム、若手指導者チーム)。参加ルールとして、女性の方がピッチに1名以上いることが必須というルールを設け、女性の方も参加できるようにした。フットサルを通して、地域に住んでいる方、地域で働かれている方、地域やクラブに関わる方々が一同に集まり、ボールひとつを追いかけて交流を図り、繋がりを深くできる良い機会になりました。

②「親子サッカー教室」
11月18日 びわこ成蹊スポーツ大学多目的グラウンド(人工芝のフットサルコート)にて親子サッカー教室を開催致しました。内容は親子でサッカーを楽しみましょう!というものです。親子で協力して達成できるメニューや、親子で対戦するメニューなどで盛り上げ、最後に試合をして親子サッカーを楽しみました。参加者は12名(子ども6名・大人6名)でした。

③地域の方々とフットサルカップ(大会)は、ルールや設定次第で年齢性別など関係なく、気軽に楽しむことができます。集まったメンバーがボールひとつを追いかけて、同じ時間や気持ちを共有することができ、繋がりが深くなる瞬間を感じ、スポーツの魅力を最大限に感じることができました。

北摂ユナイテッド(大阪府)

①クラブ合同練習会として、毎週水曜日の19:00~21:00、大阪府吹田市立第2中学校のグラウンドにて、練習を実践しています。毎回の参加人数は現在25名~40名になります。カテゴリーは、26歳~30歳中心のトップチーム、18歳~25歳中心のセカンドチーム、39歳~49歳のシニア40チームで大阪府サッカー協会と吹田市サッカー連盟に所属して活動しています。
②カテゴリーを追加しました。2018年2月に30歳~39歳を対象にしたミドルチームを増設し、マスターズ全国予選にも出場しました。また2018年11月にシニア50チームも増設し、2019年度より吹田市長杯シニア50大会に参戦します。
③練習会では、ユース年代の16歳からシニア50年代の57歳までが、120分一緒にトレーニングしていますが、お互いに負けたくない気持ちが芽生え、それが気配りへと変化して、楽しくコーチングしながら過ごしています。
また、カテゴリーが増えて、18歳から59歳までつながったことにより、まだまだ頑張れるという年代を超えた連帯感が生まれ、応援しながら競争意識も持ちつつ、試合に勝つことの楽しさを追及できるようになりました。

NPO 法人八尾大正スポーツクラブ(大阪府)

①タイトル:親子サッカー
開催日/期間:2017年5月2日
場所:大正北小学校
対象:子どもから大人
参加者数:30名
内容:親子でサッカー大会を開催しました。大人チーム同士で試合、子どもチームと大人チームで試合、大人と子ども混合チームで試合を行いました。

枚方フットボールクラブ(大阪府)

①クラブ組織が幼稚園児年代から小学生、中学生、高校生、大人、シニア、保護者とすべての年代で切れ目なく、年齢が上がっても活動できる環境にあり、カテゴリー間での交流、合同活動(クラブ申請による公式戦出場も含め)を日頃から実施しています。とりたててそれにむけた活動という感覚ではなく日々の活動そのものが引退なしにつながっているものです。
③特筆すべきことはありませんが、クラブというからには特定のカテゴリーの強化ではなく生涯プレーできる環境(上の世代の学校へ進学してしても同じクラブで続けることができること)を整えることが重要と思えますし、当クラブではそれを実践しています。

J Brave Football Club(大阪府)

開催日/期間:月2回の土・日曜日
場所:高石市高師浜人工芝グラウンド及び和泉市グラウンド
対象:全学年+パパ
参加者数:50名
内容:親子サッカーとして普段の子どもたちの活動を見て頂くほか、実際に一緒にプレーをすることで全員が楽しめる環境を提供しました。

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



③親子サッカーを開催したことで、見るだけではなく家族でサッカーに興味を持ってくれました。

HYOGO CHANCE SV(兵庫県)

- ①開催日/期間:練習日に年間を通じて
場所:練習場所(明石市立谷八木小学校区コミュニティセンター体育館)
対象:現会員および OG
内容:現会員もだが、家の都合で脱会した者、引っ越したがたまに遊びに来れる者は、だれでも参加可能とし、基本引退、退会のない考えで行っています。
- ②開催日/期間:練習日に年間を通じて
場所:練習場所(明石市立谷八木小学校区コミュニティセンター体育館)
対象:女性なら誰でも
参加者数:少数
内容:会員外でも練習日その日に参加したい者がいれば受け入れて参加可能としています。
- ③自由な参加可能としていることで和やかな雰囲気ができ、みんなで楽しめています。

一般社団法人 オープンゲート スポーツクラブ(兵庫県)

- ①タイトル:サッカー教室
開催日/期間:毎週水曜日および金曜日
場所:西宮市内グラウンド
対象:3歳~12歳までの児童
参加者数:毎回30名前後
内容:サッカーを通じた、習慣的運動機会の提供。運動能力向上のための指導。
- ②タイトル:オプションレッスンの実施
開催日/期間:毎週火曜日
場所:西宮市内体育館
対象:3歳~12歳までの児童
参加者数:毎回10名前後
内容:立位でのトレーニングが主となる、サッカーの補完トレーニングとしてコーディネーションに特化したオプションレッスンを創設しました。
- ③サッカーだけではなく、アウトドア活動を通じた交流イベントを実施しています。2018年は「カヌー体験」や「収穫体験」などを実施し、児童のみならず保護者や運営スタッフ・親子間の交流を促し平素のサッカー活動が、より円滑になりました。また指導者や教員を目指す、地域の学生をアシスタントコーチとして迎えプレーヤーから指導者への好循環を目指し育成活動をスタートさせました。

特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ(兵庫県)

- ①タイトル:グリーンアリーナ神戸カップ U-18 フットサルフェスティバル
開催日/期間:2018年8月9日(木)、10日(金)
場所:グリーンアリーナ神戸
対象:U-18世代のフットサル選手、チーム
参加者数:432名
内容:U-18世代対象のフットサル大会を行っています。

ウエルネス(兵庫県)

- ①(1)タイトル:ウエルネスサッカークラブ 初蹴り
開催日/期間:2019年1月4日
場所:ふじしろ幼稚園園庭
対象:在籍メンバー・保護者・卒業生
参加者数:40名
内容:年に1度、卒業生が戻ってこれる機会を設ける。新年が明けて初めての活動ということで、初蹴りと称し在籍メンバーと卒業生がつながる場として、交流戦やサッカーコーナーを作成して、皆でEnjoyしています。
- (2)タイトル:指導者の受け入れ
開催日/期間:随時
場所:ウエルネス
対象:大学生以上
参加者数:1名
内容:当チームを卒業した大学生が指導者として、戻ってきてくれた。サッカー指導だけではなく、野外活動や幼児へのかかわりへも積極的に参加してくれています。

玉野 Divell(岡山県)

岡山県レディース(O-30)サッカーリーグ戦に参加。8人制の20分ハーフの試合で、1日に2試合行った。

当新田サッカークラブ(岡山県)

- タイトル:親子・OBサッカー大会
開催日/期間:8月、12月、3月
場所:当新田サッカー場
対象:当団体の所属選手・指導者、所属選手の家族、退団した選手など
参加者数:約30名
内容:男女問わず幅広い年代の方々に参加して頂き、主に試合形式でサッカーを通じて交流することを目的として行っています。

②タイトル:懇親フットサル大会

- 開催日/期間:2019年3月10日
場所:岡山ドーム
対象:当団体の所属選手・指導者、所属選手の父兄
内容:市内のチームによる懇親フットサル大会です。各ジュニアカテゴリの他に大人男子、大人女子のカテゴリが用意されており、他チームの父兄とフットサルを通じて交流する機会がありました。普段運動不足の保護者の方々も子どもたちの前では負けられないと普段子供たちに送っている声援以上の力で頑張っていました。

A-pfeile 広島(広島県)

- タイトル:アンブティサッカー全国大会参加 レオピン杯・日本選手権
開催日/期間:レオピン杯:2013~2018年5月ごろ 日本選手権:2010~2018年10月・11月ごろ
場所:レオピン杯:大阪府 日本選手権:神奈川県
対象:全国のアンブティサッカーチーム・関係者
参加人数:おおよそのべ150人
内容:全国のアンブティサッカーチームの公式戦が年2回開催されており、A-pfeile 広島 AFC はほぼ毎年出場しています。選手の平均年齢は40歳代と年齢層が上がっているが、2018年の日本選手権でチーム初となるベスト4に上り詰めた。今後も更なる高みを目指して日々練習しています。

広島市室内サッカー(広島県)

- ①タイトル:男女ミックスバレーサッカー、レディースバレーサッカー
開催日/期間:2018年4月から2019年3月までのほぼ毎週土曜日の夜19-21時、その他2週間に一度は日曜日
場所:広島県スポーツ会館、広島サンブラザ付属体育館、広島グリーンアリーナ小アリーナ、広島市西区公民館
対象:小学校高学年~50代までの男女
参加者数:毎回平均約15~20名
内容:従来のサッカーやフットサルより比較的身体的に負担の少ない安全なバレーサッカーを通じて、年齢や性別を問わず、多くの方にプレーする場を提供しています。
- ②2019年3月30日から、基本は男性35歳以上の方、女性は中学生以上の方向けに、ウルトラビギナーレベルを新たに開催しています。
- ③年齢や性別、運動経験、競技経験を問わず、多くの方にそれぞれに適したプレー環境を用意できている事かと思えます。競技経験の長い方がそうでない方を嫌な顔をせず受け入れて下さる雰囲気はとても良いかと思っています。

アレックス サッカーズクール(徳島県)

- ①タイトル:新春 アレックス OB/OG 会
開催日/期間:2019年1月3日
場所:沖洲グラウンド(徳島市)
対象:クラブの OB/OG
参加者数:12名(OB/OG)+12名(現役選手、指導者)
内容:クラブの OB/OG に集まって頂き、ミニゲームを中心に交流をしました。サッカーの活動状況や現在の生活・仕事などの近況を報告しあいました。またクラブの現状を知って貰い、今後の活動に協力を頂けるようお願いをしました。
- ③あるOBは、社会人になり気軽にサッカーを楽しめる場がなくなってしまったので、所属クラブに戻ってサッカーができることが純粋に嬉しい・楽しいと話していました。また、あるOBは、子供を連れて参加してくれました。子供の数が減って、選手が集まりにくい状況ですが、昔ながらのお付き合いを大切にすることでクラブに関わる人が増えることがクラブの活動を支えてくれています。

特定非営利活動法人 春日イーグルス(福岡県)

- ①タイトル:シニアサッカー
開催日/期間:通年
場所:春日市総合スポーツセンター・県営春日公園球場
対象:オーバー35歳
参加者数:49名
内容:日曜日の17時からミドル年代・シニア年代が集まる試合形式
- ②タイトル:シニア国際交流試合
開催日/期間:2018年9月2日(日曜日)
場所:県営春日公園球場
対象:オーバー35歳
参加者数:40名
内容:香港妙田FCさん(35歳以上)元セミプロでのプレーヤーが在籍するシニアチームとの国際交流試合
- ③サッカーを通じての国際交流を行うことができた。素晴らしい時間をみんなで楽しむことができた。

Copa Ohori(福岡県)

- ②タイトル:CopaOhori(コパ大濠)
開催日/期間:毎週水曜、日曜の20時~22時
場所:南当仁小学校体育館
対象:年齢問わず、初心者、経験者、男性女性問わず対象

- ①2018年度より前から継続している活動
- ②2018年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



各団体 2018 年度活動報告

参加者数: 20名~25名

内容: フットサル活動

③年齢を問わない事で色々な年代の参加者が楽しめる環境作りに従事しています。

特定非営利活動法人カティオーラ(大分県)

①タイトル: ミドルリーグ・マスターズリーグへ参加

開催日/期間: 年間を通して、ミドルリーグ日曜日開催、マスターズリーグ土曜日開催。

場所: 大分市内グラウンド

対象: ミドルリーグ35歳以上、マスターズリーグ40歳以上

参加者数: ミドル 29名、マスターズ 26名

内容: 生涯年代に合ったサッカーができる環境を作り、歳を取ってもサッカー好きな大人でリーグに参加し練習をしたり活動しています。

テゲバジャーロ宮崎(宮崎県)

①タイトル: ずっとエンジョイ

開催日/期間: 2018/4/1-2019/3/31

場所: 宮崎県全域

対象: 中学生から

参加者数: 20名

内容: JFLクラブで女子クラブを持っており、中学生から上は際限なく所属をしており、練習、試合等に参加しております。

②タイトル: ずっとエンジョイ

開催日/期間: 2018/6-2018/12

場所: 県内全域

対象: 小学生から

参加者数: 20名

内容: 県内リーグにて、ローカルルールで認められている小学6年生からクラブ所属の45歳までの選手にて試合参加をしました。数試合をJFLホーム戦の前座に組み込み、入場も撮影もトップチーム同様に行い、事前にクラブSNSで告知。年齢に限らず、目標に向かうクラブとして広く知っていただく機会とし、選手も素晴らしい環境でプレーする経験にて、充実した時間を過ごしてもらいました。

③女子の中にはJリーグなどの試合をほとんど見たことがない人が多くいるなかで、地元クラブとの連携で互いに広く認知してもらう機会を作ることは、相乗効果があると感じました。

一般社団法人蹴-1協会(宮崎県)

①タイトル: 蹴-1GP

開催日/期間: 2019年3月17日

場所: 藤見公園陸上競技場

対象: U-9クラス、U-12クラス、一般クラス(中学生から最高齢76歳)

参加者数: 2800名

内容: サッカーのPK大会

②タイトル: 蹴-1CUP

開催日/期間: 2018年12月26~28日

場所: 藤見公園陸上競技場

対象: U-12クラス

参加者数: 300名

内容: 町おこしの為の8人制サッカー大会(海外2チーム、県外3チーム、県内7チーム)

③PK大会という、運動量の少ない高齢者でも参加できる大会となっており、多くの高齢者にご参加いただきました。

一般社団法人サンビスカス沖縄(沖縄県)

①タイトル: サンビスカス沖縄FC練習

開催日/期間: 毎週金曜日

場所: 美里中学校グラウンド

対象: 中学生~社会人

参加者数: 15名~25名程度

内容: サッカーのトレーニング

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



「補欠ゼロ」活動報告

札幌中央フットボールクラブ(北海道)

①タイトル: 効果的な練習試合の増加
開催日/期間: 2016 年～(毎年継続開催)
場所: 北海道郵政研修センターほか
対象: 全学年

参加者数: 対象全選手

内容: もともと技量のある子たちを集めて作ったチームではなかったため、練習試合の機会を増やし、必ず試合で起用するために公式戦以外の場で練習試合の回数を増やした。一昨年度からは2チーム参戦などでベンチで待つ選手も作らないようにして最低人員であっても試合に参加し出場機会を確保した。また2年前からは自チーム内で卒業記念大会を実施しており、6年生であっても技量に関わらずフル出場できる機会を設けています。

②タイトル: 複数チーム参加以外の工夫について
開催日/期間: 2018 年 9 月以降～現在
場所: 札幌市立資生館小学校、北海道郵政研修センターほか
対象: 1年生～6年生(3、4年生)

参加者数: 3年生21名、4年生16名

内容: 2018 年度はこれまでのチーム選手数が大幅に増員し、全学年合わせて最大73名の大所帯となりました。このことにより、これまでのような学年編成ごとの練習試合でも、場所や時間帯によっては出場機会が著しく少ない選手のほか、技量のある選手であっても本数を確保できず、試合の場としてはないうように乏しいものになってしまった試合が何回か出てしまった。この反省から、特に人数の多い3年、4年については大会参戦時は複数チーム参戦できるものは全て2チーム対応したが、それ以外の練習試合などではできるだけ学年で会場を分けたり試合日を分けたりなどして、同会場で本数が少なくなることから調整し、確実に参加した選手がフル出場できる組み合わせや試合数を確保できるように組みました。

③北海道特有の事情として、降雪期は体育館でのフットサルの活動が多くなるが、準備撤収を除き、約3時間当たりのフットサルの練習試合で1試合7分1本(3時間)としたときに、2学年だとしても10～12本(最大84分)が限界なのに対し、1学年でフルに使うと倍の20～24本(最大168分)消化できます。技量的な組み合わせもあるが、3～4チーム編成でも5～6試合の出場が確保されます。実際の試合は10分～12分だが、7分で行なうと試合の回転数もあるが、短時間でより攻撃的な展開になりがちで攻守の切り替えなど通常の練習の内容としても向上するメリットが多く見られました。また経験年次の浅い選手が飛躍的に向上する場でもあり、チャレンジする姿勢が随所にみられたことで結果的に公式戦の際はトップチームへ登録することになった選手も出ました。外のサッカーで置き換えた場合、12分1本程度で計算すれば同じ3時間でも15本組めた場合、1学年3チーム編成できたとしても1日5本出場が確保されます。12分という設定に関しても通常の15分～20分から見ると明らかに短いですが、それだけ短時間の中で攻守の切り替えが多くみられると思う、こちらに関しては2019年度に継続して取り組みたいです。

シーガルサッカークラブ(北海道)

タイトル: U-12 リーグ
開催日/期間: 4月～9月(合計7日間、計14試合)
場所: 札幌市内、札幌市近郊の学校グラウンド等
対象: 小学生高学年
参加者数: 16名

内容: リーグ戦において登録選手全員にスターティングメンバーの経験をさせました。試合出場時間も極端に偏ることなく、全員にチャンスを与えました。

社会福祉法人 純心会 まるくこども園(青森県)

タイトル: 友情杯サッカー大会
開催日: 春季大会 平成 30 年 6 月 23 日(土)
秋季大会 平成 30 年 9 月 29 日(土)
場所: 十和田市陸上競技場
対象: 保育園、認定こども園を単位とする 4 歳児と 5 歳児
参加者数: 7つの施設 延べ約150人

内容: 13年前、2つの施設のサッカー交流からスタートし、「補欠ゼロ」の取り組みに理解を示した施設が5園となったときから友情杯サッカー大会としました。それから7年目を迎えた一昨年参加施設が7園となり現在に至ります。小学校就学前に子どもの心身の成長を一義的に考慮し、男の子、女の子、障害の有る無し、運動が得意不得意に関わらず、1つの大会中に必ず出場機会を与える「補欠ゼロ」に賛同する施設の集合体で企画運営するサッカー大会。勝負より交流色が強く、各施設の保育者の交流の場にもなっています。

②上記の同日、同会場において4歳児のみのゲームも行った。年長児と異なり、ルールの理解に乏しさは感じられ、敵味方や攻めるべきゴールがわからなくなったりしながらも、一生懸命にボールを追いかける4歳児の姿に保護者の声援がとても温かいものだった。1つ年上の子への憧れもあり、サッカーに対する意欲が増し、とても意義あるものとなりました。

③ある子が、誰に教わったわけでもないけど、敵味方関係なく倒れた友だちの手を取り、何度も何度も起こしてあげる姿が目を引き、大会後に他園の保育者より伝え聞いたときはとても嬉しかった。今後もフェアプレーを指導していきたいです。

ポールスターユナイテッドスポーツクラブ(青森県)

タイトル: ウィンタートレーニングマッチ
開催日/期間: 11月～3月
場所: サッパドゥ
対象: 小学生、中学生
参加者数: 延べ500人
内容: フットサルの試合

SendaiForza(宮城県)

タイトル: 東北各地での大会参加
開催日/期間: 随時
場所: 東北各地域
対象: 療育手帳を持つ中学生以上の方
参加者数: 20人～30人
内容: 東北各地の障害者サッカーのが主催する大会に参加している。選手の実態やサッカーの技術に合わせて3～4種類ならカテゴリーがある。様々なカテゴリーがあることで、互いに切磋琢磨しながら試合を楽しむことができています。

特定非営利活動法人ブチユナイテッドアスリートクラブ(山形県)

①(1)タイトル: 山形県フットサルリーグ登録選手全員参加
開催日/期間: 2011年5月～
場所: 山形県内各地区
対象: 当クラブ山形県フットサルリーグ加盟登録選手
参加者数: 年間12名位
内容: 当クラブで加盟している山形県フットサルリーグ参戦チームは、加盟当初から16歳～50歳代までの登録選手がおり、現在も同じ年齢層で加盟参戦し、全員が出場している。また、発達障害者も加盟登録しているが、その者も選手として出場し活躍しています。

(2)タイトル: JFAファミリーフットサル大会参加
開催日/期間: 2015年～
場所: 山形県内各地区
対象: 当クラブフットサルスクール加入者及びその家族等
参加者数: 年間40名位

内容: 当クラブで運営する幼児から育成年代のフットサルスクールでは、健常者のみならず発達障害や知的障害者も加入しています。そのような環境で、全員が通常大会に参加することが容易でないこともあり、全員が出場し楽しめる大会として、毎年開催されているJFAファミリーフットサルに参加することを目標として、スクール生の家族も含めて練習もし、同大会に全員参加出場しています。

③当クラブによる参加趣旨等を山形県フットサル委員会から承諾を得て、複数参加チームの承諾など、運営側から参加しやすい環境設定を行ってもらっています。

茨城県知的障がい者サッカー連盟(茨城県)

タイトル: ホーリーフェスタ 2018
開催日/場所:
平成 30 年 7 月 7 日(土) ケーズデンキスタジアムサブグラウンド
平成 30 年 7 月 16 日(祝・月) ホーリーピッチ
対象: 小学生から 65 歳
参加者数: 285 名

内容: 7月7日は天気予報では台風が接近し、雨が降るということであったが、試合が始まる頃には曇りとなり、午後になると晴れ間も見られる天気となりました。サッカー交流大会には、フレンドリーエンジョイブロック、フレンドリーアグレッシブブロック、チャンピオンブロックの3ブロックに110名の選手が参加した。7月16日は朝から夏の日差しが照りつける夏日となりました。サッカー交流大会には、フレンドリーエンジョイブロック、フレンドリーアグレッシブブロック、チャンピオンブロックの3ブロックに175名の選手が参加しました。

②会場に黒球式熱中症指数計を設置し、30分おきに記録を取り、状況に応じて会場に水分補給や休憩のアナウンスを行い、参加者全員の安全管理を行いました。そうした取り組みにもかかわらず、7月16日は熱中症様状により5名の選手が体調不良を訴え、本部常駐のスポーツトレーナーが応急処置などをしたが、内2名が救急車での救急搬送となりました。この点については選手のみならず、指導者に向けてもほほえみカップサッカーチャンピオンシップ大会の組合せ抽選会の時に指導者講習会(指導法とルール、健康管理)を実施しました。

蹴球団藤岡キッカーズ(群馬県)

①開催日/期間: 4月～3月
場所: 各地
対象: 3種年代
参加者数: 100名

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



内容:リーグ戦やカップ戦など、各種大会において、全選手が公式戦に出場できるように、メンバーを入れ替えている。交流戦では、複数チームで参加し、できる限り平均に試合出場できるようにメンバーを入れ替えています。

③交流大会では、1 学年約 35 名の選手を 2 チームに均等に分けて参加することで、各選手のモチベーションを上げています。公式のリーグ戦では、そのメンバーで 1 チーム参加し、誰でもトップチームの先発選手になれるように機会を作り、選手のモチベーションをあげるように工夫しています。

FC REAL(埼玉県)

①タイトル:ゼロリーグ

開催日/期間:4 月~3 月

場所:埼玉県各地

対象:小 1~小 3

参加者数:8~10 チーム

内容:年間を通したリーグ戦で全員になるべく同じ時間の試合時間を参加させることで全員のスキルアップにつなげます。

NPO 法人浦和スポーツクラブ(埼玉県)

①タイトル:サッカー広場

開催日:毎週月曜日と木曜日

場所:さいたま市駒場スタジアムサブグラウンド

対象:幼稚園生~小学校6年生

参加者数:計 300 人

内容:ボール遊びとミニゲームで全員参加

白岡市サッカー協会(埼玉県)

タイトル:学校対抗 中学卒業記念サッカー大会

開催日/期間:3月17日

場所:白岡市総合運動公園

対象:市内中学卒業生

参加者数:約100名(在校生・役員・指導者・審判・応援含む)

内容:市内の中学卒業生なら中体連・クラブ登録にかかわらず出場できる、学校対抗のサッカー大会。

浦和グランパワーズ(埼玉県)

①埼玉県シニアリーグ参加、選手権参加、ねんりんピック(富山大会)参加、県内グラウンド在籍人数50名 試合は全員出場させています。

南中野ダックス F.C.(埼玉県)

①毎週日曜日練習(近隣リーグ参加、トップチームは 100 試合位実施した)在籍人数 30 名 試合には全員出場させています。

②今年度は高学年(4年以上)が少ないため近隣チームと合同夏合宿を行いました。

LIVRO 白岡 SoccerClub(埼玉県)

①タイトル:各カテゴリーのリーグ戦への参加

開催日/期間:通年・各カテゴリーによって

場所:春日部市内グラウンド、羽生市内グラウンド、さいたま市内グラウンド etc

対象:小学生~中学生

参加者数:各カテゴリー15名前後

内容:各カテゴリーのリーグに参加し、複数の試合を設ける事で参加した選手全員を出場させる時間の確保。また、チームの勝敗よりも選手それぞれの成長を重視することを参加選手の保護者様にもご理解を頂く事で、時間による選手の入れ替えにも賛同頂いています。

鶴ヶ島ブルーウィングスサッカー少年団(埼玉県)

①タイトル:縦割りリーグ

開催日/期間:3ヶ月に一回

場所:小学校校庭

対象:小学校 4~6 年生

参加者数:約 25 名

内容:学年を混ぜてチームを作り年間リーグを行う。4 年生が得点すると 2 点しかしキャプテンが審判に申請しないと通常得点 1 点となる。この年より同点 PK 戦で勝敗にこだわる。

②タイトル:縦割りリーグ

開催日/期間:3ヶ月に一回

場所:小学校校庭

対象:小学校 4~6 年生

参加者数:約 25 名

内容:審判を 1 人制・中学生による副審など

③学年を混ぜることにより思いやりや尊敬を養ってると思います。特別ルールによってチームの中で作戦をたて試合に挑んでいます。長く続けているので 4 年から優勝チームにいるので 6 年最後も優勝したいと張り切る選手もいます。4 年生が上手く言うことを聞かないと頭を抱える 6 年生もいます(笑)いろいろな経験が出来ていると思います。

TODOS UNIDOS(千葉県)

①開催日/期間:通年

場所:千葉県柏市、松戸市、八街市、酒々井町

対象:子供から大人まで

参加者数:1 日 10~20 人ほど

内容:サッカースクールやサッカー大会

③毎月恒例の子供も大人も楽しく競える TODOS CUP は大好評です。

ドリームチャレンジフットボールファン(千葉県)

①私たちのスクールは試合中心です。コート的大小、ゴールの数を増やしたり、数的有利不利などさまざまな形式の試合をこどもたちが会話、相談して決めています。全員の参加時間が少しでも長くなるよう心がけています。

ATLETICO 君津(千葉県)

①タイトル:交流戦

開催日/期間:長期休み期間

場所:新富運動広場

対象:中学生

参加者数:100名

内容:開放的な空間の中で一日中サッカーに取り組み子供達がプレイする機会を増やしつづ様々なチームとの関わりを持つことができました。

一般社団法人徳スワローアカデミアクラブ(千葉県)

①タイトル:GYOTOKU Fes

開催日/期間:2019 年 3 月 23 日・24 日

場所:館山市出野尾多目的広場

対象:四種年代 U-12、U-11、U-10

参加者数:200 名

内容:数年前から活動をしている TATEYAMA Fes を GYOUTOKU fes in TATEYAMA として今年も活動、沖縄県・神奈川県・千葉県の各クラブと天然芝 4 面のグラウンドをフルに使用し 25 分 1 本のゲームを行いました。今年は特にベンチを設けず、8 人制・9 人制・10 人制・11 人制を対戦チームと相談し人数を合わせ、勝ち負けに拘らずひたすらゲームを実施、空きコートでは混合チームの編成も行い、他のクラブとの交流を行った、夜は指導者の懇親会を実施、それぞれのクラブの持つ課題について夜遅くまで議論を交わし親睦を深めました。

②タイトル:市川市ジュニアサッカーフェスティバル

開催日/期間:2018 年 9 月 22 日

場所:千葉県市川市内各小学校(8 か所)

対象:小学 1 年生~3 年生

参加者数:800 名

内容:千葉県市川市での四種年代(3 年生以下)については年に 3 回の公式戦を開催しています。この 3 回の大会はすべて勝敗を決める大会であり、どうしても勝ち負けに拘る傾向にあります(控えの選手がでてしまう)。そのため、昨年度の 4 月より市川市四種委員会へ、「年に一度は勝敗に拘らない大会を開催できないのか?」と働きかけ、昨年度は【ジュニアサッカーフェスティバル】として当日にグラウンドへ集まったクラブ(会場は抽選します)で混合チームを編成しベンチに座る選手が居ない大会を開催することができました。各会場では指導者・親の指示もなく、子供たちが伸び伸びとボールを蹴り、運び、即興の円陣を組むチームも出現、空き時間には各学校の情報を交換していました。このような取り組みで市川市のサッカーファミリーが出来上がっていきと思います。この取り組みは 2019 年度もより良いフェスティバルになるよう精査し継続していきます。

③ジュニアサッカーフェスの取り組みは保護者の皆さんも大変喜んでおり、子供たちがいつもより楽しそう、良い表情をしている、普段より走っている、等の声が上がっています。3 年生以下のカテゴリーでの勝敗は必要ないと感じたフェスとなりました。(個人的には U-12 では勝敗全く必要ないと感じています)

ApreDiver(東京都)

①タイトル:海を汚すんじねえカップ

開催日/期間:年 1 回から 2 回

場所:持ち回り

対象:5 年生

参加者数:100 名

内容:江戸川区、市川市の親睦のある 6 チームで毎年行っている大会で、事前に選手のレベルを合わせること、出場時間が同じになる事を義務づけています。

FC アンビシャス(東京都)

①タイトル:区内各大会(5 年生教育長杯大会・3 年生大会・4 年生大会・5 年生いるカップ大会・6 年生ケーブルテレビ杯大会・6 年生区長杯大会)

開催日/期間:通年

場所:区内グラウンド

対象:各学年選手

参加者数:延べ 100 名以上

内容:区内で開催される各大会に出場し、ベンチ入りした選手(登録選手)全員出場をしました。登録選手が多い学年は 2 チームで参加し、出場機会を増やしました。

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



②タイトル:区内 U10 育成リーグ(年間 12 試合)

開催日/期間:2018 年 6 月 10 日~11 月 3 日

場所:区内グラウンド

対象:4 年生全員

参加者数:13 名

内容:2018 年度から始まった区内 4 年生育成リーグに参加しました。「育成」という名の下に、サッカー経験者、2018 年度から入部した未経験者を問わず、積極的に出場させました。

③チームによって、それぞれの考え方がありますが、「試合を観るのも経験」と言いながら大勢の選手がベンチ入りした風景が見受けられます。なかには試合を観ずに「砂いじり」を始める選手も…。アンビシャスは常に全員出場が基本ですので、ベンチ入りした選手全員が「自分がいつ呼ばれてもいいように、体と心の準備ができています」ように思います。これは集中力の持続にも役立っていると思われる。今後も「自分が主役」になれるよう、選手全員に出場機会を与えていきたいと思えます。

カフリンガ東久留米(東京都)

①タイトル:個人参加

開催日/期間:週 3 回

場所:ケルンチュフツサルパーク花小金井

対象:大人

参加者数:10~20 人

内容:集まった人でゲームを回します。

②タイトル:子供向けゲーム会

開催日/期間:2018 年~

場所:ケルンチュフツサルパーク花小金井

対象:子ども

参加者数:10~20 人

内容:集まった子供でずっとゲームを回します。

③子どものゲーム会を毎週土日に開催。自チームの活動が無い子どもたちが集まり、勝ち負けに関係なく試合をずっと回します。

株式会社クリエイティブヘッズ(エフチャンネル・フットサルステージ)(東京都)

①[エフチャンネル]

タイトル:フットサル/ソサイチ/ビーチサッカー/サッカー大会

開催日/期間:随時

場所:関東/関西/東海/北海道

対象:16 歳以上

内容:当社が特に普及に力を入れているソサイチ(7 人制サッカー)は交代自由です。しかも 11 人制に比べて、ボールのタッチが一人当たり 3.5 倍というデータもあります。みんながピッチに立ち、みんながボールに触れる可能性がぐんと広まります。ここに補欠はいません。当社大会の中でも、とりわけ「ソサイチ(7 人制サッカー)」は近年急速に需要が広がり、年間 2121 大会(2017 年度実績)の大会を企画しました。ソサイチは交代自由(シフリーに申告せずに自由に交代可能)というルールにより、交代がとても活発に行われます。そもそも、先発と補欠という概念が存在しておらず、みんなが平等にサッカーを楽しんでいます。

[フットサルステージ]

タイトル:スーパーリーグ

開催日/期間:通年

対象:16 歳以上

参加者数:約 200 人

内容:私たちは、「フットボールを楽しむ場の創造」「コミュニティの維持/創造による地域社会の発展」「健康の増進」の 3 つを軸にフットサルのリーグ戦を開催しています。参加しているチームも選手構成は様々です。公式戦よりも規定が厳しくなく、先発・補欠という概念無く登録選手皆がフットサルを楽しんでいます。

②[エフチャンネル]

2018 年度からあらたに大会を開催している会場の所在地

神奈川県川崎市高津区溝ノ口、神奈川県横浜市港北区北新横浜、東京都調布市、石川県金沢市角間町、三重県鈴鹿市、大阪府吹田市、長野県木祖村

一般社団法人日本ソサイチ連盟(東京都)

①タイトル:FOOTBALL 7 SOCIETY LEAGUE

開催日/期間:1 月~11 月

場所:関東エリア/関西エリア/東海エリア/北海道エリアのソサイチコート

対象:大学生/社会人

参加者数:関東リーグ 34 チーム 510 名/関西リーグ 10 チーム 150 名/東海リーグ 8 チーム 120 名/北海道リーグ 4 チーム 60 名

内容:誰でも気軽に参加できるソサイチ(7 人制サッカー)では、交代自由(レフリーに申告せずに自由に交代可能)というルールにより、交代が活発に行われます。そもそも、先発と補欠という概念が存在しておらず、みんなが平等にサッカーを楽しんでいます。また、単発で終わるワンデイ大会だけではなく、年間を通じてソサイチを楽しめるよう、一部地域においてリーグ戦を開催しています。このリーグ戦は順次、全国へ広がっていきます。同時にカテゴリー(年齢/性別など)も拡充していきます。

②タイトル:FOOTBALL 7 SOCIETY LEAGUE チャンピオンズカップ

開催日/期間:11 月 23 日~24 日(2 日間)

場所:東京・J-SOCIETY FOOTBALL PARK 調布

対象:大学生/社会人

参加者数:関東・関西・東海・北海道のリーグ優勝チーム、合計 75 名

内容:関東リーグ、関西リーグ、東海リーグ、北海道リーグの優勝チームによる全国大会を開催しました。2 日間で合計 4 試合を行うハードな日程のため、交代自由のルールを生かし、チーム総力戦で登録選手全員が出場することができました。

③日本全国にソサイチ(7 人制サッカー)ができる環境づくり。グラウンド問題、人数問題をクリアすべく、小人数制サッカーを取り入れることにより、ソサイチができる民間の人工芝フットサル施設の活用と、少子高齢化に向けて、11 人揃わなくても 7 人で出来るサッカー、そしてシニアや女子にも普及し、リーグ文化を創りだしていきます。

株式会社 アシスト(東京都)

①タイトル:補欠ゼロ

開催日/期間:1993 年~

場所:杉並区、中野区、練馬区他

対象:幼稚園児~ママさん、シニア

参加者数:多数

内容:試合を行う際は、サッカーが上手い下手に関係なく全員が出場できるようにしています。

A.C ammaliatore(東京都)

①タイトル:平等な経験と当事者意識

開催日/期間:2018 年度

場所:東京・埼玉

対象:幼児・小学生・社会人・知的障害児

参加者数:60 名程度

内容:一握りの選手に限定せず参加メンバー全員に同じ環境を与え、当事者意識の植え付け・本気の試合を継続的に行い、選手個々に意欲と充実感を与えるとともにチーム全体の底上げと競争意識を高める。

東京都市大学付属高等学校フットサル部(東京都)

①タイトル:自主運営大会

開催日/期間:長期休業期間

場所:本校グラウンド

対象:本クラブ選手、他クラブ選手

参加者数:100 名程度

内容:全員出場できる自主運営大会を開催している。

②タイトル:各種公式大会への複数チームエントリー

開催日/期間:通年

場所:都内各体育館

対象:本クラブ選手

参加者数:30 名

内容:全員出場できるよう複数チームを登録しています。

③本クラブ主催大会(アルマタ杯)に参加したいサッカー2種3種、フットサル2種3種のチームはぜひお声掛けください。

LARGO FOOTBALL CLUB(東京都)

①開催日:4月14日・5月19日・6月16日・7月7日・9月9日・10月13日・11月10日

場所:荒川遊園グラウンド・荒川区立尾久小学校

内容:前半と後半で選手を入れ替えるゲーム(人数がいる場合)約320名

順位をつけたり試合結果を問わないので自由にサッカーをエンジョイできます。

③順位や試合結果を問わないので自由にプレーさせる事が出来る。又、可能性を発見できます。

アッチ・フットボールアカデミー(東京都)

①都電リーグ(U-8,U-10,U-11)、年間20試合、東京都区内、リーグ戦(ホーム&アウェー)、約30名程度

②U-11 プレミアリーグ参入戦参加、年度末(未定)、東京都清瀬内山運動公園、100名程度

③都電リーグ戦について=選手全員出場(1試合約10分以上出場義務)

品川区フットサル連盟(東京都)

①タイトル:第4回品川区フットサルカップ

開催日/場所:

《品川区フットサル カップ戦 予選リーグ》

【日時】10/8(月祝) 9:00~12:30(受付 8:30~)

【会場】しながわ中央公園:多目的広場(人工芝、コート2面、雨天決行。)

《品川区フットサル カップ戦 予選リーグ》

【日時】10/20(土)12:30~16:00(受付 12:00~)

【会場】しながわ中央公園:多目的広場(人工芝、コート2面、雨天決行。)

《品川区フットサル カップ戦 決勝トーナメント》

【日時】11/25(日) 9:00~12:30(受付 8:30~)

【会場】しながわ中央公園:多目的広場(人工芝、コート2面、雨天決行。)

《BRONZE CUP》

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



【日時】1/13(日)12:30~16:00(受付 12:00~)
【会場】しながわ中央公園:多目的広場(人工芝、コート2面、雨天決行。)
《GOLD CUP》
【日時】1/20(日)16:00~21:00(受付 15:30~)
【会場】しながわ中央公園:多目的広場(人工芝、コート2面、雨天決行。)
《SILVER CUP》

【日時】1/27(日)9:00~12:30(受付 8:30~)
【会場】しながわ中央公園:多目的広場(人工芝、コート2面、雨天決行。)
期間:2018年10月8日~2019年1月27日
対象:全員

参加者数:約500名
内容:自由と平等を基本理念として、フットサルに親しめる環境を整備し、進んで全員参加で大会にイベントに参加します。フットサル競技の交代が自由にできるステキな点を活かして、上手い下手に関係なく全員が試合に参加できるよう、そういった趣旨の大会や交流戦を毎年恒例で開いています。
③当連盟の活動に賛同していただける団体様のカップ戦への参加を募集しております。カテゴリ分けされた各カップ戦において、全員が大会に参加されている姿や笑顔が見られました。

リベルタサッカースクール(東京都)

①タイトル:全員レギュラー、全員に楽しさと成長体験を

開催日/期間:年間3回/各カテゴリ
場所:各県サッカー大会、スクールにて
対象:全会員

参加者数:全国約20,000人以上
内容:大会に限らず、スクールより全ての子ども達をレギュラーとし、同様に出場機会を設定しています。それは、幼児スクールであっても、クラブチームであっても変わりません。上手い下手関係なくサッカーを楽しんでいます。

②タイトル:全ての子どもたちに光を
開催日/期間:年間3回/各カテゴリ
場所:各県大会会場
対象:全会員

参加者数:全国20,000人以上
内容:大会の際、大差で全敗とならないようカテゴリとリーグの組み合わせには注意しています。また、敗退チームも同じ試合数出場できるよう、フレンドリーマッチを実施しました。
③最後の表彰では、優勝チームだけでなく、一人ひとりに光が当たりやすいように、「各チーム優秀選手」や「MIP」、「リベルタ賞」などを採用しています。

Clube Atletico SOLUA(東京都)

②開催日/期間:2018/5~2

場所:東京都立葛飾盲学校
対象:CA SOLUA 葛飾クラブメンバー
参加者数:3~6

内容:土曜日午前9:00~12:00に定期的なトレーニングを行い、リーグ戦や日本選手権に向けて活動。

(1)開催日/期間:2018/5/4~5

場所:葛飾区立水元総合スポーツセンター
対象:ロービジョンフットサルプレーヤー
参加者数:11名

内容:日本ブラインドサッカー協会主催第13回ロービジョンフットサル日本選手権に初出場

(2)開催日/期間:2019/9/2

場所:埼玉県本庄市若泉運動公園
対象:ロービジョンフットサルプレーヤー
参加者数:10名

内容:日本ブラインドサッカー協会主催東日本リーグに出場

(3)開催日/期間:2019/10/20

場所:筑波大学
対象:ロービジョンフットサルプレーヤー
参加者数:10名

内容:日本ブラインドサッカー協会主催東日本リーグ出場し、リーグ戦でのイベントで観戦に訪れていた子供と交流

(4)開催日/期間:2018/11/4

場所:町田市立総合スポーツセンター
対象:ロービジョンフットサルプレーヤー
参加者数:8名

内容:日本ブラインドサッカー協会主催東日本リーグ出場

(5)開催日/期間:2018/12/15

場所:世田谷区立塚戸小学校
対象:世田谷区立塚戸小学校、笹原小学校の児童及び矛盾者
参加者数:100名

内容:世田谷区立塚戸小学校において、近隣の笹原小学校の弱視学級の子どもたちとフットサルの体験活動、塚戸小学校で、ロービジョンフットサル体験会及び講演会。

トライサッカー(東京都)

①タイトル:ワンデー大会

開催日/期間:年間通して土日

場所:中野区

対象:小学1年生~6年生・幼児

参加者数:50名

内容:5人制のミニサッカー大会を開催しました。勝敗はありましたが、5人制にすることで誰でもボールに触る・サッカーのプレーをする。大会ですが、ルールの認識など、サッカーの基礎を学びながら大会を運営しました。

NPO 大豆戸フットボールクラブ(神奈川県)

①タイトル:みんなが主役

開催日/期間:2018年~2019年

場所:神奈川県内

対象:U6~U15

参加者数:350人

内容:公式戦のほかにセカンド対象のルーキーリーグ、全選手の試合出場時間を管理して、全員が試合に同じだけ楽しめる、成長できる環境を整備しています。

②RECCOS リーグというリーグに参加し、在籍している選手がさらにサッカーを楽しめる環境を整備しています。

③プレミアリーグという全ての選手が出場するリーグの神奈川県幹事をつとめ、セカンドチームも出場し、多くの選手たちが強度の高い試合を経験し、成長しています。

KAZU SOCCER CLUB(神奈川県)

①タイトル:KANAGAWA ROOKIE LEAGUE

開催日/期間:4月~3月末日

場所:神奈川県内

対象:U8~U12のセカンドチーム

参加者数:約1,100名

内容:セカンドチーム対象の年間リーグを行っています。

NPO 港北フットボールクラブ(神奈川県)

①横浜市港北区大会、横浜市大会、神奈川県大会等、全ての公式戦で、参加学年の全員に出場機会を与える(組織創設以来の理念)。

②組織創設以来の理念に基づく活動を引き続き継続しています。

③全22名のメンバーを11人ずつ2チームに分け、6試合ある予選リーグを各チーム3試合ずつ体験させた。常にベストメンバーを組んでくる他チームと違い、当方は戦力を均等に2分割したため苦しい戦いとなったが、全員がぐまなく健闘してその大会の決勝トーナメント進出を果たしました。

一般社団法人 公田サッカークラブ(神奈川県)

①タイトル:公田カップ(1年生の部~6年生の部)

開催日/期間:2018年12月~2月

場所:桂台小学校、桂台中学校

対象:1年生~6年生の6カテゴリ

参加者数:500

内容:補欠ゼロを大会規定に記載した主催大会。

選手は全試合に出場します。工夫として3ピリオド制を導入し1Pと2Pでは選手を全員交代します。

タイトル:通年を通した取り組み

参加者数:公田SC所属選手86名

内容:大会エントリーは、可能な限り複数エントリーする。

・通年を通して、皆が同じ数の試合経験を積めるようにリーグ戦にエントリーしています。

・遠征に行けば必ず試合に出場します。

②タイトル:俺たちのアイデアカップ

開催日/期間:2019.2.11

場所:戸戸蔵人

対象:U-10

参加者数:85

内容:補欠ゼロを大会規定に記載した主催大会。更に、コーチの指示なし自分たちが自分たちでメンバー選考から交代タイミング全てを行う大会として開催しています。

③補欠ゼロを大会規定にすれば、それが当たり前になります。

横浜F・マリノス(神奈川県)

タイトル:しょうがいしゃサッカー教室

開催日/期間:1999年~2017年

場所:横浜、横須賀市内 各種支援学校等

対象:小学生~高校生

参加者数:1217人

内容:体を動かす楽しさやボールと一緒に動くこと

②タイトル:県未病サッカー教室

開催日/期間:2018年6月~12月

場所:横浜、大和市内

対象:お孫さん(小学校1年生~4年生まで)と高齢者(65歳以上)の2名1組

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



参加者数: 381 人

内容: サッカーを通じて頭と身体を使う運動をお孫さんと一緒にやる

③横浜 F・マリノスフットボール 横浜市民社会人リーグ参戦 2 位

社会人のチーム相手でも堂々と試合をしていてあきらめない姿にとても感動しました。2019 年度も横浜市社会人リーグに参加予定しています。

横浜かもめスポーツクラブ(神奈川県)

①タイトル: かもめチャレンジカップ

開催日/期間: 2019 年 1 月開催

場所: 横浜市立松本中学校

対象: 公式戦に出場機会の少ない選手

参加者数: 12 チーム参加

内容: 公式戦に出場機会の少ない選手を対象にチャレンジカップという名目で積極的にチャレンジする機会を提供しています。

③年間を通じて公式戦に出場が少ない選手を対象にしたリーグへ参戦していますまた、区で開催されるリーグ戦は均等に力を分けて出場することにより自信をもってプレーする選手が多く出てきました。

公益財団法人横浜 YMCA サッカークラス(神奈川県)

①タイトル: YMCA カップ

開催日/期間: 学期に 1 回程度

場所: 不定期

対象: 小学校 1 年生～6 年生

参加者数: 515 名

内容: 年に 3 回実施されるサッカー大会 YMCA カップの実施。YMCA カップとは横浜 YMCA 各スクールの参加者が一堂に集まる大会です。参加したい選手は実力なども関係なくだれでも参加でき、参加した選手は平等に試合に出場する機会があります。なるべく多くの選手が試合を経験できるように大会の参加人数によって大会のレギュレーションなども変更しています(通常 8 人制で行っているところを、コート数を増やし、6 人制などにしてたくさん試合の場を与えられるようにする)。また、大会では優勝・準優勝だけではなく、個人賞としてフェアプレー賞というものを設けています。これは YMCA が試合の勝敗よりも大切にしているフェアプレーの精神を大切にしている。実践している選手を表彰する賞となります。

③参加した選手に出場機会があるため、選手及び保護者の充実度と達成感が上がった。また継続的に参加している選手はモチベーションも上がり、日頃の練習を意欲的に行う姿が見られました。

PLAY MAKER プロジェクト(長野県)

①タイトル: マッチングサイト PLAY MAKER の運営

開催日/期間: 通年

場所: インターネット上

対象: 競技を続けたい選手、指導者

参加者数: 500 名

内容: 競技を続けたい選手とチームが繋がるサイトの運営

②タイトル: マッチングサイト PLAY MAKER の運営

開催日/期間: 通年

場所: インターネット上

対象: 競技を続けたい選手、指導者

参加者数: 500 名

内容: 競技を続けたい選手とチームが繋がるサイトの運営

一般社団法人筑北スポーツ振興協会(長野県)

②タイトル: 筑北 SC(サッカーチーム)

開催日/期間: 2017/4～

場所: 筑北村サッカー場

対象: 小学生～中学生

参加者数: 60

内容: 小学生、中学生のサッカーチーム活動

③選手たちを各学校まで向かいにいき、練習前にクラブハウスで勉強をさせる時間を確保する。保護者の送迎の軽減と選手の練習後の生活リズムが整うようにしています。

フリーダム新潟 FC(新潟県)

①タイトル: 補欠ゼロ

開催日/期間: 年間

場所: 各試合会場

対象: 小学生、中学生

参加者数: 20～30 名

内容: 公式戦も含め、参加した児童・生徒は公式戦・練習試合に関わらず、どんな試合でも参加者が試合に出場しています。

③参加者全員が参加するため、パフォーマンスは安定せず負ける試合もありますが、負けた試合から学ぶことも重要であることを児童・生徒には伝えてあります。県のトップで戦ったこともあります。当時より現在の方が、児童生徒が卒団してからサッカーを続けてくれるようになりました。そして、時々卒団性が遊びに来てくれます。

見附小学校サッカークラブ(新潟県)

①(1)タイトル: 見附サッカーフェスティバル大会

開催日/期間: 2018 年 6 月 9 日(日)/1 日

場所: 元町運動公園

対象: 小学 1 年生～6 年生

参加者数: 120 人

内容: グラスルーツ「補欠ゼロ」

* サッカーの実践を通して、技術の向上と親善交流を図るとともに青少年の健全育成を目的とする。

(2)タイトル: 見附市ロータリーサッカー大会

開催日/期間: 2018 年 10 月 13 日(土)/1 日

場所: 元町運動公園

対象: 小学 1 年生～6 年生

参加者数: 120 人

内容: グラスルーツ「補欠ゼロ」

* 全選手が試合に出場する事により、自分で考え・判断し行動できる力を養う事で、自らの未来へと繋ぎます。

(3)タイトル: 見附市フットサルフェスティバル大会(小学生の部)

開催日/期間: 2018 年 12 月 2 日(日)/1 日

場所: 見附市総合体育館

対象: 小学 1 年生～6 年生

参加者数: 120 人

内容: グラスルーツ『補欠ゼロ宣言! 感謝をゴールへ!』

(i) 全選手出場・補欠ゼロ! により子供達の挑戦する心を育てる。

(ii) 今年 1 年間、色んな方への感謝の気持ちを込めてゴールを目指す。

③グラスルーツ「補欠ゼロ」の大会

リーグ戦を行い、全選手が参加できるチャンスを与える事。又、場合によっては、リーグ戦後、順位決定戦を行う事で、子供達の心に火を灯すのもよろしいかと思えます。大会後、必ず、他チームのコーチ・選手・親御さんへヒアリングを行い、感想をまとめ、次の大会へ活かす事をお勧め致します。

パトリアーレ SABAE(福井県)

①公式戦がある日には必ず B 戦や TM を組んで、試合日に参加した選手は必ず試合の経験が出来るようにしています。

清水エスパルス(静岡県)

①タイトル: 「スクール交流戦」「スクールチャレンジカップ」等

開催日/期間: 2018 年 4 月～2019 年 2 月

場所: エスパルスドリームフィールド各施設(5施設)

対象: 小学 1 年～6 年生

参加者数: 延べ約 600 名

内容: サッカースクール生対象の交流戦や 1 DAY 大会を年間 15 回開催しました。参加する選手全員が同じ時間ピッチでプレーすることで、選手同士(学年差や技術差がある)の助け合いや思いやる気持ちが自然と芽生えて、選手自身の成長が感じ取れます。

特定非営利活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポラスター(静岡県)

①タイトル: 全員試合出場

開催日/期間: 2018 年 4 月～2019 年 3 月

場所: 地域大会会場

対象: FC ポラスター磐田(小学 1～6 年生)

参加者数: 80 人

内容: 公式戦、練習試合の区別なく全員を試合出場することをコーチ全員で共有。人数が多い学年もいるが、基本的には一番多い出場時間の選手の半分の時間は最低確保することを共有している。例えば、20 分ハーフゲームでフルタイム 40 分出場した選手がいる場合は、少ない出場時間の選手でも最低 20 分は出場させています。

②タイトル: 審判なしの U-8 ミニサッカー交流マッチ

開催日/期間: 2018 年 5 月～1 月 年間 5 回

場所: 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ

対象: 小学 2 年生以下

参加者数: 延べ 480 人

内容: 以前から継続していた活動を「審判無し」移行しました。時間のコントロールのみ本部の大人がするのみで試合のはじめから終わりまで子ども達で試合を進めます。選手全員を出場するルールも追加し、2019 年度からはタイトルにも「みんな Play!」を盛り込み、全員出場をもっと訴求するイベントとしたいです。

③全員出場することでチーム力全体が向上するのを毎年実感。しかしながら我々には当たり前の「全員出場」が、地域の指導者や保護者には「全員出場」は浸透していないので、啓発活動の意味でも大会形式のイベント開催を計画していきます。

裾野西サッカースポーツ少年団(静岡県)

①タイトル: 補欠ゼロ 全員プレー

開催日/期間: 全学年プレイヤーズファースト交流戦 月 1 回

場所: 裾野西小学校

対象: 全学年

参加者数: 30～60 名(2 チームから 6 チームで開催)

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



内容:全て子供達が考えて行う、プレイヤーズファースト交流戦を月1回ペースで開催しました。また、地域で同じ活動をしている招待試合にも参加して、子供達が自分たちで考えながら楽しくサッカーを楽しむ環境作りをしてきました。指導者はベンチに入らず、戦術、メンバー交代、試合の準備も全て子供達だけで行います。この交流戦では、指導者と保護者は子供達の考えをリスペクトして、声掛け、指示やコーチング、プレイの否定は一切禁止行いません。子供たちはポジションを固定せず、全てのポジションを練習します。そして練習したポジションを試合で実践します。試合終了後、子供たちは試合の反省点を話し合い、次の目標設定を行います。指導者は、子供たちの考えを尊重し、子供たちが決めた目標設定に対するアドバイスを行います。チャレンジしたことに対する失敗はチーム内で決して責めない様に指導しています。指導者は子供たちに何度でもチャレンジする機会を与えるようにしています。ベンチにいる選手は、ピッチでプレーしている選手と一丸となって何が出来るか考えます。指導者は直接プレーの指示をせず、ベンチにいる子供たちが自分たちで修正点を伝えるように指導しています。②プレイヤーズファーストの回数を増やして、保護者にもプレイヤーズファーストの目的を広げていきました。

③サッカー以外でも自分たちで考えて行動する子供達が増えてきました。

Club Atletico AICHI(愛知県)

③全員を試合に出場させているので、サッカーが嫌いになったと言って退会した選手が一人もいない。逆に全員を出すので、レベル的に追いつかない選手が試合結果を下げてしまうこともあり、結果のみを求める保護者には賛同してもらえず他のチームへ移籍していった選手も数名いました。

曙フットボールクラブ(愛知県)

①タイトル: 普段の活動
開催日/期間: 年間を通して
場所: 碧南市内G
対象: 小・中学生(男女問わず)
参加者数: 15人程度
内容: 全員が試合に出場できる人数での活動
③学年、カテゴリ毎に定員を設け全員が試合に出れる人数での活動をしています。

NPO 法人 GranArbol スポーツクラブ(愛知県)

①タイトル: チャリティフットサル大会(U-12・U-15)
開催日/期間: 2018年8月11日
場所: WING FUTSAL CLUB
対象: 小学生・中学生
参加者数: 150人
内容: 小学生、中学生を対象とした交流大会を行っています。

一般社団法人 AVANCO(愛知県)

①リーグ戦などを利用して、空いている時間に TM を組み、選手達全員が出場できる形を作っています。
②自チーム主催の CUP 戦を行い、試合数の確保に取り組みました。

特定非営利活動法人 JOAN スポーツクラブ(愛知県)

①タイトル: FCJOAN
開催日/期間: 通年
場所: 愛知県内各会場
対象: 小学生
参加者数: 12名
内容: 毎試合、全ての子どもが出場できるようにしています。

Luciro Football Club(愛知県)

①タイトル: 公式戦出場
開催日/期間: 2009年～現在
場所: 愛知県東尾張地区
対象: U12以下
参加者数: 毎年16名程度
内容: 公式戦出場において、選手全員に出場機会を与えています。
②タイトル: フットサル大会
開催日/期間: 2018年度
場所: ウイングフットサルクラブ
対象: U8以下
参加者数: 10名程度
内容: 年間を通した前期と後期のフットサルリーグに参加し、前半と後半のメンバーを総入れ替えして戦いました。
③補欠ゼロは選手のモチベーションを上げ、チームの底上げになります。

豊田竜神 FC1977(愛知県)

①毎月試合を実施し、参加選手を全員出場させている。また、公式戦にはできる限り複数チームをエントリーして、より多くの出場時間が確保できるようにしています。

③20分ハーフの試合だった場合、5分程度では出場させたと認めない。少なくとも10分以上はプレーさせる。15分ハーフなどに試合時間が短い公式戦の場合、時間の許す限り練習試合を設定して試合出場経験を増やすようにしています。

七里御浜 FC(三重県)

①団体をスクール、スポーツ少年団、クラブチームとして活動しています。年間3回～6回程度の団体内でのサッカー大会を実施し Enjoy が中心のスクール生にも試合を楽しんでもらう環境を提供しています。各カテゴリで活動に適した試合環境を提供することで可能な限り補欠ゼロを目指して活動しています。
③クラブチームだけの環境ですと、特にU-12カテゴリにおいてトレーニングマッチ以外の公式戦、招待試合ではメンバーがある程度固定されてしまう傾向にあると思います。人数が多い団体では、団体内だけでの年間を通してのリーグ戦を地域対抗や学校対抗というようなチーム分けで実施することで技術の高い選りすぐりのメンバーではなく、選手の一体感ほちながらかつ補欠ゼロのサッカーが実現できました。言うなれば学校のクラス対抗リレーのような感じです。

ペルナサッカークラブ(三重県)

①タイトル: Jogo com PERNA
開催日/期間: 月1回程度
場所: 三重県三重郡菟野町大羽根運動公園
対象: U-15～6
参加者数: 平均150人/日
内容: 順位を付けず、勝敗にこだわらないで、より多くのプレー機会を提供する大会(当然全員出場)
③大会参加チームは全て趣旨に賛同しており、多くのプレー時間が確保されます。

岐南サッカースポーツ少年団(岐阜県)

①(1)タイトル: フジパン Jr サッカー大会 岐南地区予選
開催日/期間: 4月30日
場所: 各務原フェニックス
対象: U-12
参加者数: 10名
内容: 八木山1-0で負け 那加 23 7-0で負け 前後半で選手全員出場しました。
(2)タイトル: 日韓友好親善サッカー交流大会
開催日/期間: 5月3～4日
場所: 岐阜メモリアルセンター 長良川競技場
対象: U-12
参加者数: 13名
内容: 11人制での試合でした。5年生も参加しました。韓国チーム等と対戦しました。前後半で、全員出場しました。
(3)タイトル: 南部 SS 招待サッカー
開催日/期間: 7月14～15日
場所: 羽島市 長良川競技場
対象: U-12
参加者数: 10名
内容: 2日間に渡り予選・順位トーナメントに参加しました。 前後半で全員出場しました。
(4)タイトル: 岐工 OB フェスティバル
開催日/期間: 7月28～29日
場所: 笠松町 江川グランド外
対象: U11～12
参加者数: 24名
内容: 炎天下で熱中症の選手が出るような大会になってしまいました。
(5)タイトル: 常滑サッカーフェスティバル
開催日/期間: 8月4～5日
場所: 常滑市 青海グランド
対象: U-12
参加者数: 10名
内容: 2日間に渡り予選・順位トーナメントに参加しました。 前後半で全員出場しました。
(6)タイトル: ハートランスカップサッカー大会
開催日/期間: 8月4～5日
場所: 笠松町 江川グランド
対象: U-11
参加者数: 10名
内容: 8人制による予選・順位トーナメントを行いました。前後半で全員出場しました。
(7)タイトル: イビコン・クリーン杯
開催日/期間: 9月8～9日
場所: 大垣市 杭瀬川グランド
対象: U-11
参加者数: 10名
内容: 8人制による予選・順位トーナメントを行いました。前後半で全員出場しました。
(8)タイトル: 岐阜県選手権岐阜地区一次予選
開催日/期間: 9月30日

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



場所:各務原市 フェニックス

対象:U-12

参加者数:12 名

内容:予選リーグ 3 試合 3 試合とも前後半で全員出場しました。

(9)タイトル:羽島郡大会

開催日/期間:11 月 3 日

場所:笠松 フットボールセンター

対象:全学年

参加者数:32 名

内容:全学年全員出場しました。

(10)タイトル:岐南杯 U-11 大会

開催日/期間:11 月 26 日

場所:岐南町民グラウンド

対象:U-11

参加者数:10 名

内容:予選順位決定戦方式で大会 各試合とも前後半で全員出場しました。

(11)タイトル:真正カップ

開催日/期間:12 月 8 日

場所:真正グラウンド

対象:U-12

参加者数:10 名

内容:8 チームのトーナメントの大会、各試合において前後半で全員出場。

NPO 法人 BIWAKO SPORTS CLUB(滋賀県)

①「人数が多い学年は 2 チームで出場するなどの工夫をする」

「たくさんの選手が試合経験を積めるように配慮する、また試合数の確保に努める」ジュニアユースチーム(BSC JY)は各学年 20 名ずつ在籍しております。練習試合では全員がほぼ同じ時間に出場できるように努めています。

また公式戦では大会ごとに位置づけをして公式戦になかなか出場できない 3 年生の選手にも出場してもらえるよう心掛けています。

AC.gloria(京都府)

①開催日/期間:年間通して

場所:各 TR.G

対象:全学年

参加者数:全員

内容:各カテゴリーの TR.G に全員が出場する。出場時間の管理をする。

②自チームが優先して使えるグラウンドが出来たので、そこで定期的に自チーム主催の交流戦を行い、全員出場や公式戦に出場時間の少ない選手を長い時間試合に出られる機会を与えています。

北摂ユナイテッド(大阪府)

①すべての選手のために、懇親会や表彰式で、コミュニケーションを図っています。特に試合に出ている選手が、出ている選手にエールを送れるように、チームとしての意識を高められる活動をしています。

②2018 年から、サッカーのキャリアカウンセリングを本格的に開始しました。プロになりたい選手や、プロを引退して選手に対して、ヒアリングからどのような道筋で組み立てれば現実化するかについて、時間をかけて話をしています。

③サッカーに関わる仕事をしたい選手は多いですが、実際の職種は少なく、選手、指導、審判、運営に限られてしましますが、業態を開発することで、いろいろな職種が生まれる可能性はまだまだ秘められています。

NPO 法人八尾大正スポーツクラブ(大阪府)

①タイトル:クローバーカップ

開催日/期間:年間

場所:大正北小学校

対象:小学生

参加者数:20 名程度

内容:チーム主催のサッカー大会で子どもが必ず試合に出場することができるようにしました。人数が多く参加した際に、自チームの出場チームを 2 チームにして、補欠ゼロを行いました。前半に出場した選手は必ず、後半に出場することを徹底して行いました。

枚方フットボールクラブ(大阪府)

①クラブの理念が『クラブに関わる全ての人が今ここにいて幸せと感じるクラブを目指す』ことですのでセレクションせず、入部した人、その関係者(家族、OB、指導者等)がサッカーを通じて幸せに過ごせることを目標としております。一部のカテゴリーの公式戦では勝負を求めて出場機会の少ない選手もでてきますが、リーグ戦や地域の公式戦等ではすべての選手に出場機会を与えています。

②クラブ理念に基づいた活動がされているか、毎月のスタッフ全体会議で確認しあい、スタッフ間でのベクトル合わせを行っています。

J Brave Football Club(大阪府)

①タイトル:全員サッカー

開催日/期間:通年

場所:泉北地区

対象:全学年

参加者数:120 名

内容:年間を通して試合ごとに全員が必ず出場。

③補欠がないことで全員が試合のための練習に取り組む意識が高くなりました。

PLUCK FC(大阪府)

①協会のリーグ戦だけでなく、大阪市のリーグ戦にも積極的に参加。それだけでなくフットサルの大会にも参加。公式戦を全員が戦うことで、普段のモチベーションも高くなっています。

②フットサルの大会にも積極的に参加しています。全員がスタメンでフル出場できるようにしています。

HYOGO CHANCE SV(兵庫県)

①開催日/期間:毎試合

場所:試合会場

対象:会員全員

内容:どの試合も全員、交代して出場できるようにしています。

③試合毎に、全員で話し合っており、出場について決めています。

特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ(兵庫県)

①タイトル:グリーンアリーナ神戸カップフットサルフェスティバル

開催日/期間:全国大会 2018 年 11 月 4 日(日)

場所:グリーンアリーナ神戸

対象:U-12、U-18 女子、オーバー-35、45 世代のフットサル選手、チーム

参加者数:960 名

内容:多様な世代を対象とするフットサル大会。東名阪で予選大会を開催しました。

ウエルネス(兵庫県)

①タイトル:ウエルネスフェスティバル

開催日/期間:1 月 27 日(日)

場所:J-green 堺

対象:年長

参加者数:200 名

内容:複数面のコートを作成し、大勢の子どもたちが、試合機会を得られるように実施しました。

③あまり積極的ではない子どもに対しても、その気持ちを受け止めつつ、子どもたちのできているところを探してアプローチしました。その結果、自信を持ち、最後には子どもが率先してプレーに参加することができました。サッカーを無理やりさせるのではなく、プレーしたくなる仕掛け、かかわりがよかったのだと思います。

すごう SC(岡山県)

①タイトル:全選手試合出場

開催日/期間:各試合日

場所:各試合会場

対象:全学年

参加者数:30 名

内容:当チームでは、どの試合でも選手全員が試合に出場出来るように選手交替を工夫しています。

③公式戦では 2 試合を 1 試合と考えて選手交替を行っている。様々なレベルの選手が助け合いながら勝利を目指しています。レベルの高い選手がそうでない選手にポジティブな声かけを行えるようになってきています。

当新田サッカークラブ(岡山県)

①タイトル:出場機会の均等

開催日/期間:通年

対象:全所属選手

内容:年間を通して選手の出場機会が均等になるようにトレーニングマッチ等による調整を行っています。

②タイトル:出場時間の均等

開催日/期間:通年

対象:全所属選手

内容:これまで年間を通して選手の出場機会が均等になるように取り組んでいましたが、さらに出場時間も出来る限り均等になるようにトレーニングマッチ等による調整を行っています。

キッズフィールド 高松(香川県)

①タイトル:補欠 0

開催日/期間:4 月～3 月

場所:香川県内外

対象:小学生

参加者数:90 名ほど

内容:各種別の大会やリーグ戦などで、試合を経験させる。

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



③いつもベンチの選手でも、勝負のかかる試合に出場させる事で、信頼や自信を持たせています。

アレックス サッカースクール(徳島県)

①タイトル:U-7 キッズ

開催日/期間:2018 年 11 月 17 日

場所:シーサイドフットサル徳島(徳島市)

対象:U-7

参加者数:7名

内容:U-7 の6人制の大会に参加をしました。サッカー歴・年齢・男女の区別なく、全員が平等にサッカーを楽しみました。大人が勝ち負けにこだわらずに、子供達がのびのびとサッカーを楽しめるよう、指導者・保護者が協力して子供達をサポートしました。

特定非営利活動法人 春日イーグルス(福岡県)

①タイトル:キッズフェスタ

開催日/期間:年3回/6月・9月・2月

場所:白水大池公園多目的広場(天然芝)

対象:年長~小学3年生の男女

参加者数:1大会300名

内容:補欠なしでの年代別交流試合

タイトル:Eリーグ(クラブ内リーグ及びカップ戦)

開催日/期間:リーグ・前期・後期リーグ カップ戦:年3回

場所:春日市総合スポーツセンター・白水大池公園多目的広場

対象:小学4年生~6年生男女

参加者数:300名

内容:レベルを3つに分け、1チーム12名~14名で8対8の試合においてローカルルールを設定しながら、それぞれのレベルで試合を楽しむことが出来るリーグ及びカップ戦を開催しました。

②3月9日(土)TOPの選手で、離島の小学校に勤務しているその離島の子どもたち(2年生~6年生)を招いての大会(6チームトーナメント戦)を実施し交流を深めることができました。

③離島の子ども達に初めてサッカーの試合をする機会を創出することができました。

FORTE Football Academy(福岡県)

①タイトル:FORTE カップ U8~U15

開催日/期間:2018 年4月~2019 年3月

場所:直方東小学校 G ほか

対象:U8~15

参加者数:1200名

内容:クラブ主催の年代別大会。5人制(U8~U9)、8人制(U10~12)、11人制(U13~U15)。複数チームを出場させることで、全選手の出場機会を作っています。

②タイトル:FORTE フットサルカップ

開催日/期間:2019 年2月 16 日(日)

場所:光陵アリーナ

対象:U12

参加者数:100名

内容:クラブ主催の U12 年代フットサル大会。再交代制を活用し、全選手の出場機会を作っています。

③クラブ主催の年代別大会を開き、2チーム参加を行うことや再交代制を積極的に活用することによって全選手を大会出場させることができました。そのことによって、選手のプレー意欲はもちろん、技術・判断のレベルアップも行うことができています。

Copa Ohori(福岡県)

②タイトル:CopaOhori(コパ大濠)

開催日/期間:毎週水曜、日曜の20時~22時

場所:南当仁小学校体育館

対象:年齢、初心者、経験者、男性女性問わず全員対象

参加者数:20名~25名

内容:フットサル

③経験者クラス、初心者&女性クラスとクラス分けすることにより皆が楽しめる活動を開催しています。

ソルニーニョ FC(佐賀県)

①試合に参加した選手は出来るだけ均等に近い形で、試合に出場させている

②タイトル:全員出場

開催日/期間:2018/4~2018/10

場所:佐賀県内各地

対象:U-12

参加者数:21人

内容:人数が多い学年で、登録数が限られている事もあり、チームを2チームエントリーしてからリーグ戦、全日本少年サッカー大会に出場し、全員を出場させることができました。

よこおスポーツクラブ ゴラツ横尾(長崎県)

①(1)タイトル:平等に機会創出&全員出場&選手主体

開催日/期間:通年

場所:長崎市立横尾小学校体育館

対象:クラブ選手全員

参加者数:30名

内容:全学年男女問わず、全員が試合できる環境を、大人ができる限り設定する。(練習試合を組む、様々なカテゴリーの大会に出場する etc)学年やスキルに応じてカテゴリーを複数設けて、試合ができるようにしている。試合当日はメンバー交代(全員出場が大前提)、振り返りやウォーミングアップ、捕食など、出来るだけこども達主体で行っています。指導者は助言に留め、自分たちで解決策を考えることを大切にしています。

(2)タイトル:女子選手の試合機会創出

開催日/期間:通年

場所:①島原復興アリーナ、②西海橋グラウンド、③長崎市立横尾小学校、④トランス・コスモスタジアム

対象:女子選手

参加者数:10名

内容:あまり機会のない女子選手の試合等、機会を創出している。①県フットサル連盟主催の女子フットサル大会に単独チームとして出場したり、②近隣サッカークラブ主催のカップ戦に女子チームとして参加したり(U-10のカテゴリーに U-12 女子で出場:同じくらいのチーム力となるよう配慮)③人数が不足した場合は、合同チームや男子選手の助っ人を認めながら、努めて女子同士の試合を設定し行ったり、④女子サッカー普及のためのなでしこジャパンのサッカー教室参加&なでしこジャパンの試合観戦するなどしています。普段は男子と混じて試合を行うことがほとんどであるが、女子同士となると、プレーや試合に臨む姿勢、意気込みが一段と高まりを感じ、このような機会は女子選手にとって極めて重要と考える。男女問わず、今後も平等に機会を創出していきます。

②タイトル:ファミリーフットサル&リズムトレーニング

開催日/期間:通年

場所:長崎市立横尾小学校体育館

対象:クラブ選手、家族

参加者数:40名

内容:こども達の取り組みや、サッカーやフットサルの競技理解、親子のコミュニケーション促進、こども達の自己効力感を高めることを目的として、ファミリーフットサルを企画・開催しています。保護者がこども達と一緒に、日々行っているトレーニングを経験したり、試合をすることで、足でボールをコントロールすることの難しさを体験することができます。そうすることで、試合観戦時や、練習・試合後のこどもへの声掛けが増えること、また共感やポジティブなものへと変化することを期待している。こどもは自ら親にサッカーやフットサルのトレーニングや試合のことを話すことが楽しくなり、サッカーやフットサルの捉え方が、よりポジティブなものへと変化すると考えられます。トレーニングの一環として、競技力向上や身体の動かし方の質を高めるためにリズムトレーニングを導入しました。こども達だけでなく、保護者も取り組みやすく、ジャンプ系の動きは「とても楽しい、面白い」という声が聞かれ好評です。今後も継続して取り組んでいこうと考えています。

③(1)タイトル:みんなde enjoy

開催日/期間:通年

場所:長崎市立横尾小学校体育館

対象:クラブ選手全員

参加者数:30名

内容:学年やスキルに応じて3カテゴリーに分けて GAME をおこなう。ほとんどの選手が同じ時間プレイできます。大きく2チームに分けるため、カテゴリーの枠を超えて、選手同士が同じチームとして応援や助言を行います。盛り上がりつつ、先輩が後輩を教える、後輩が先輩を慕う、皆が注目している中、良い緊張感をもって試合ができるなど利点が多いです。またコミュニケーションも円滑となり、チームワークや信頼関係の構築を期待している。低学年は得点を決めた後、チーム全員でハイタッチしたら1点。嬉しいや楽しいという感情は素直に表出してほしいです。

(2)タイトル:女子指導者、審判の養成

開催日/期間:通年

場所:長崎市立横尾小学校体育館

対象:女子指導者

参加者数:1名

内容:当クラブは女子選手が9名所属しています。ジュニアユース世代は女子選手が活動にいきいともあり、OGも2名一緒にプレイしています。女子選手の理解や精神的支援のためには、同性の指導者の存在は大きく、必要不可欠と考えています。そのため保護者の中から、希望した者に対して、女性指導者としてトレーニングに参加してもらい、指導経験を積みながら、主に女子選手や低学年選手に対する技術面だけでなく精神面の支援を、主に行ってもらっています。保護者からは、女子指導者がいることはこどもだけでなく、保護者の安心にも繋がるや、トレーニングだけでなく運営上でも男子コーチにはない細かな配慮や、気づきがあるなど好評です。2017年度にフットサル4級審判員、2018年度にJFAキッズリーダー講習会、サッカーD級指導者講習会を受講し、現在(2019年度)長崎県で開催されているサッカーC級指導者講習会(女子コース)を受講中で研鑽に努めています。

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



特定非営利活動法人カティオーラ(大分県)

①タイトル:U-10 補欠ゼロサッカー大会

開催日/期間:2018 年 11 月 23 日

場所:大分市国宗グラウンド

対象:U-10 以下

参加者数:大分市・別府市・由布市から8チーム 合計 118 名

内容:大分市の国宗グラウンドにて「U-10 補欠ゼロサッカー大会」を開催しました。試合形式は3ピリオド制で、参加者全員が必ず試合に出場することで勝負に拘りつつも、楽しみながら1日サッカーを行いました。

一般社団法人蹴-1 協会(宮崎県)

①タイトル:蹴-1GP

開催日/期間:2019 年3月 17 日

場所:藤見公園陸上競技場

対象:U-9 クラス、U-12 クラス、一般クラス(中学生から最高齢76歳)

参加者数:2800 名

内容:サッカーの PK 大会

②タイトル:蹴-1CUP

開催日/期間:2018 年 12 月 26~28 日

場所:藤見公園陸上競技場

対象:U-12 クラス

参加者数:300 名

内容:町おこしの為の8人制サッカー大会(海外2チーム、県外3チーム、県内7チーム)

③U-12の大会では、海外チームとの交流をテーマに行った為、どのチームにも勝敗に関係なく全員プレーしてもらうように促しました。

臺北サッカースポーツ少年団(宮崎県)

①タイトル:リスペクトフェスティバル

開催日/期間:3 月中旬

場所:西都市清水台総合公園

対象:U-12

参加者数:40

内容:参加者全員が同じ出場時間でゲームを行う。保護者が選手を表彰する。

③コーチからの注文は、全員が出場、全員が楽しくサッカーが出来ることのみ。

時間はかかりますが、低学年時から子どもに任せる事で、自分たちでできる事、解決できる事が多くなってきます。学年の個性により差はありますが、小学生のうちにできなくても取り組み方だけでも得てくれれば良いと考えています。

プライズ FG(宮崎県)

①タイトル:大会、練習試合に参加する選手は必ず試合に出場し経験を積む

開催日/期間:毎回

場所:大会及び練習試合会場

対象:選手全員(小学生)

参加者数:毎回 10 名前後

内容:大会や練習試合を定期的に計画し参加した選手には必ず試合に出場する機会を与え経験を積ませる事、試合を経験する喜びを体験してもらいました。

③全員が試合を経験する事によって練習での意識が少しずつ変化しやる気が上がりました。

向花サッカースポーツ少年団(鹿児島県)

①(1)タイトル:向花サッカーフェスタ(入団体験会)

開催日/期間:毎年、5 月から 6 月の練習日(月、水、金)

場所:向花小学校

対象:体験希望の小学生

参加者数:団員20名+希望者10名

内容:初心者向け(キッズ U-8)の練習体験

(2)タイトル:親子サッカー大会

開催日/期間:年間通して、3 回

場所:向花小学校ほか

対象:団員、保護者、指導者

参加者数:約 40 名

内容:普段、試合(大会)出場機会の少ない低学年を中心に親子、各カテゴリーの枠を超えてゲームを楽しんでいます。

③(1)試合に参加し、結果に一喜一憂するのいいですが、親子、指導者、参加者全員がサッカーを通じて純粋に楽しめる時間を共有することができたのが良かったです。

(2)レギュラー、補欠という概念を無くす事ができ、皆が交替で出場するという事が当たり前に出来るようになりました(子供たちだけで交替を含めたメンバー構成が出来てきた)。

一般社団法人サンビスカス沖縄(沖縄県)

①タイトル:サンビスカス沖縄サッカースクール

開催日/期間:毎週月~金開催

場所:沖縄県内全域

対象:小学生

参加者数:200 名程度

内容:サッカースクール

③年に3回、サッカースクール生だけの交流試合が行われます。その際に、補欠ゼロを掲げていることで、全員がたくさん試合を経験することができています。また、勝ち負けではなく、自分がどれだけ頑張れたか?を評価の対象としているため、子供たちも自分だけに集中するようになりました。それを土台に、本気でサッカーという競技に移行していけたらいいと感じています。

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



「障がい者サッカー」活動報告

札幌中央フットボールクラブ(北海道)

①タイトル: 肢体不自由児との交流について、障がいのある人とのサッカーの学びについて

開催日/期間: 2016 年度より年3~4回(2018 年度は2回実施)

場所: 札幌市立資生館小学校、札幌医学技術福祉歯科専門学校体育館

対象: 全学年+肢体不自由児(小学5年生)

参加者数: 55名(実施時)

内容: 卒業生選手の弟で、脳性まひによる肢体不自由児が在籍している。選手登録を行ない、チームの選手として活動を共にしています。普段はバギーと呼ばれる車いすに乗車。意思の疎通など難しい場面においても、表情や顔の向きなどでできるだけ子どもたちの推測のもとで判断し、ボールも通常の4号球を用いたり、バランスボールのような感覚がわかりやすい大きなボールで車いすサッカーの感覚で子どもたちと一緒にバギーを動かして取り組ませています。フットサルコート1面ほどで人数的制限などを行ないながらゲームを通じて一緒に楽しむことを行なっています。また元 J リーガーでもあり、ふかともインクルーシブの深川友貴さんを年1度必ずお招きし、講演などを通じて健常者、障がいの者の垣根を作らずに一緒に楽しもうとしている活動内容を保護者も含めて一緒に体験のお聞き、交流を深めています。(2年連続開催)

②今年度は前年度の継続項目のみで、新たな取り組みは実施できませんでした。次年度についてはまた違った観点で取り組みたい案件があり、実施したいと思っています。

③別件ですが、ADHD を含めた知的に伴う不安要素をもっている児童、学校内でも特別支援学級に在籍している児童については前年度よりも2名増え、通常の活動に参加させています。できるだけ障がいをもつ子の保護者に対して、健常者と変わらない対応を心掛けている中でも、特にどんなことを取り組むのか明確にすると安心してもらえる気がします。

シーガルサッカークラブ(北海道)

①開催日/期間: 毎週土または日(週1回開催)

場所: 石狩市立紅南小学校体育館ほか

対象: 知的障がい者(高校生以上)

参加者数: 13名

内容: フットサルのトレーニング(夏場はサッカーも体験)

②開催日/期間: 毎週土または日(週1回開催)

場所: 石狩市立紅南小学校体育館ほか

対象: 知的障がい児(中学生以下)

参加者数: 7名

内容: フットサルのトレーニング(夏場はサッカーも体験)

③当クラブには「障がいのある人たちの生涯スポーツを」を最大のテーマに F.I.D.ドリームというチーム名で活動するフットサルチームがあります。主に知的障がいや発達障がい、その他生活に困り感のある子どもから大人までが対象です。インクルーシブな環境を大切にしており、当クラブ内のジュニア、ジュニアユース、レディーズカテゴリーと一緒にプレーする機会を設け、チームに所属することで多くの仲間と出会う環境を大切にしています。また、ジュニアユースの選手が F.I.D.ドリームの練習にアシスタントコーチとして指導に携わるなど新たな取り組みも行っています。さらに、独自の取り組みとして「育成年代の普及活動」を行っている。体験会を実施し、選手たち自身がサポート役に回り、楽しさを伝える活動に参加するなど、一人一人が役割を持ってチーム活動に参加しています。F.I.D.ドリームは自分たちの生涯スポーツの場でありつつ、誰かの生涯スポーツを作っていきます。

SendaiForza(宮城県)

①タイトル: サッカー教室

開催日/期間: 2018 年 8 月/10 月

場所: 仙台市

対象: 療育手帳を持つ中学生以上の方

参加者数: 10~20 人

内容: 仙台市障害者スポーツ協会やベガルタ仙台と協力しサッカー教室を開催している。日常的に運動する機会が少ない障害のある方々にとって余暇の過ごし方の一つとして提案することができました。

②タイトル: サッカー交流会

開催日/期間: 随時

場所: 宮城教育大学グラウンド

対象: 療育手帳を持つ中学生以上の方

参加者数: 30~40

内容: 宮城県を拠点とする知的障害者サッカーのチームや放課後等デイサービスと交流会を開催している。サッカーを通して所属するチームを超えた仲間づくりや自身の練習の成果を発揮する場となっています。

特定非営利活動法人ブチユナイテッドアスリートクラブ(山形県)

①タイトル: 誰でも参加フットサルスクール

開催日/期間: 2012 年4月~

場所: 山形市内及び米沢市内の小学校体育館

対象: 小学生から高校生まで。年齢性別、経験問わず、発達障害等の事情あり者含む
参加者数: 1回5~10 名位

内容: 毎週水曜及び木曜日に開催し、特に不登校児童生徒や発達障害、知的障害者を対象としているが、そのほかスポ少や部活動に加入できない事情があるものも対象としています。

基本的な動作の他、体力向上を目指したメニュー構成で、スポーツを楽しむ環境提供をしている。

②(1)タイトル: 誰でもフリーフットサル

開催日/期間: 2018 年4月~

場所: 山形市内の小学校体育館

対象: 小学生以上、年齢性別、経験問わず、発達障害等の事情あり者含む

参加者数: 1回 10 名位

内容: 毎週水曜日に開催し、小学生以上であれば、年齢性別、経験を問わず、みんなで楽しむ enjoy フットサルを行っています。スポ少や部活動に入れない児童生徒のみならず、経験者や 50 歳を超えた参加者も多数おり、毎開催参加者や家族での参加もいます。

また、不登校児童生徒、発達障害や知的障害者も多く、当該者が活動しやすい環境をみんなで提供し、継続した参加をしてもらっています。

(2)タイトル: futsal de 芋煮会

開催日/期間: 2018 年 10 月

場所: 山形市内の小学校体育館

対象: 年齢性別、経験問わず。不登校、発達障害、知的障害、ひとり親等の事情ある者。

参加者数: 60 名位

内容: 誰もがスポーツをの楽しめる環境提供を合わせ、スポーツ後にはみんなでコミュニケーションを図る場の提供を行うこととし、クラウドファンディングを活用して、開催費用を確保し、山形県名物の芋煮会を開催するための食材を調達するなど、ボランティアスタッフや地域の方々の協力も得て、多くの参加があり、事情のある子どもたちにスポーツや食事の提供を、コミュニケーションの場を提供することができました。クラウドファンディングを活用したイベント開催初めてであったが、様々な方々の協力によって無事に開催することができ、また新たな手法による障害者等を対象にしたスポーツ環境等の提供ができる礎ができたと感じました。

茨城県知的障がい者サッカー連盟(茨城県)

①(1)ほほえみカップサッカーチャンピオンシップ大会

(2)ホーリーフェスタ 2018

(3)フレンドリーサッカーフェスティバル(サッカー教室)

回数は 3 回。

第 1 回 水戸高等特別支援学校グラウンド 50 名

第 2 回 つくば特別支援学校体育館 45 名

第 3 回 流通経済大学サッカーグラウンド 20 名

(流通経済大学サッカー部がボランティアで参加)

(4)つくば市人権啓発活動活性化事業 障害者サッカー体験教室

主催 つくば市

期日 11 月 17 日

場所 つくばウェルネスパーク

(5)茨城県サッカー協会指導者講習会

C 級および D 級の講義の中で、障がい者サッカーの講義と実技を取り入れています。

②(1)人権集会「障がい者サッカー体験会」

主催 桜川市立桜川中学校

期日 12 月 12 日

対象 中学1~3年

内容 講義と体験(ブラインドサッカーとアンブティサッカー)

(2)オリンピック・パラリンピック推進事業「障がい者サッカー体験」

主催 境町立境小学校

期日 11 月 5 日

対象 小学3年と4年

内容 講義と体験(ブラインドサッカーとアンブティサッカー)

学校様からの依頼があり、授業を実施した。

③茨城県サッカー協会指導者講習会

C 級および D 級の講義の中で、障がい者サッカーの講義と実技を取り入れている。この取り組みについては、47FA に広めて行きたいと思っています。

FC REAL(埼玉県)

①開催日/期間: いつでも

場所: リアルサッカーズクール各地

対象: 幼児~小学生

参加者数: 数名

内容: 耳の不自由な子、自閉症の子なども保護者の方の同意を得られる子はサッカーズクールに受け入れ一緒にサッカーを楽しむ場を提供しています。

NPO 法人浦和スポーツクラブ(埼玉県)

タイトル: みんなのサッカー交流会

開催日: 2 月 24 日

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



場所: 埼玉スタジアム2002第4グラウンド
対象: 隣少年団他市内から誰でも参加
参加者数: 200名
内容: ブラインドサッカー体験、デフサッカー体験、CPサッカー選手ウォーキングサッカーおよび通常のサッカーの交流をしました。

一般社団法人 埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会(埼玉県)

①タイトル: NPO法人浦和スポーツクラブ様との共催イベント
開催日/期間: 毎年 2 月
場所: 埼玉スタジアム2002
対象: 小学生サッカーチーム(60名)とCPサッカー選手(10名)
参加者数: 小学生サッカーチーム(60名)とCPサッカー選手(10名)
内容: 交流ゲームや混ざりながらブラインドサッカーの体験等を実施
②タイトル: 日野市サッカー連盟様との共催イベント
場所: 日野市市民の森スポーツ公園
対象: 小学生サッカーチーム(30名)とCPサッカー選手(10名)
参加者数: 小学生サッカーチーム(30名)とCPサッカー選手(10名)
内容: サッカー教室や交流ゲーム

FG もんちっち(埼玉県)

①埼玉県障害者センターにて毎月土曜日練習実施、登録数25名(保護者 27名)
埼玉県障害者交流サッカー大会参加 1 月さいたまスタジアム
②特に新しい試みはないが、コミュニケーションの証であるパスが多くできるようになってきました。

東京都知的障がい者サッカー連盟(東京都)

①知的障がい児、者サッカー教室の開催、知的障がい者サッカー大会、フットサル大会の開催
②知的障がい女子サッカー教室、クリニックの開催
③女子のみのサッカー教室を開催しました。女子のニーズも多くあり、参加者が増えました。

カフリンガ東久留米(東京都)

①タイトル: 初心者クリニック/Jr スクール/ガールズスクール
開催日/期間: 毎週
場所: ケルンチュフットサルパーク花小金井
対象: 大人/子ども
参加者数: 10~20人
内容: レベルに関係なくみんなで練習を行います。

株式会社クリエイティブヘッズ(エフチャンネル・フットサルステージ)(東京都)

①(1)タイトル: ブラインドサッカー共催事業
開催日/期間: 随時
場所: 都内近郊
対象: ブラインドサッカー競技者一般プレーヤー
内容: 当社の理念にある「誰もが・・・」には、障がい者サッカーも私達の仲間、という思いが込められています。当社は 2016 年度から(一社)日本障がい者サッカー連盟(JIFF)のパートナーとなりました。当社はこれからも、障がい者サッカーをより多くの人に知っていただくための活動を続けていきます。
■特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会との取り組み
(i)「ブラインドサッカー日本選手権」との共催フットサル大会
※2018 年 7 月アミノバイタルフィールド(東京都調布市)にて開催 10 チーム参加
(ii)「ブラインドサッカー東日本選手権」との共催ソサイチ大会
※2018 年 2 月富士通スタジアム川崎(神奈川県川崎市)にて開催 10 チーム参加
「広く一般の方々にブラインドサッカーを知ってもらう機会を創出する」というコンセプトのもと、ブラインドサッカー公式戦と隣接するピッチで当社の大会を開催します。すぐ隣でブラインドサッカーの公式戦が行われていたり、ブラインドサッカーの体験ブースがあったりと、いつもの当社の大会とは違った雰囲気味わうことができます。ブラインドサッカーを多くの方に知って頂きたい、という願いを込めています。
(2)タイトル: CP サッカー共催事業
開催日/期間: 随時
対象: CP サッカー競技者/一般プレーヤー
内容: 当社の理念にある「誰もが・・・」には、障がい者サッカーも私達の仲間、という思いが込められています。当社は 2016 年度から(一社)日本障がい者サッカー連盟(JIFF)のパートナーとなりました。当社はこれからも、障がい者サッカーをより多くの人に知っていただくための活動を続けていきます。
■特定非営利活動法人 CP サッカー & ライフエスベランサとの取り組み
エスベランサが主催する、「障がい者チームと健常者チームが対戦する大会」のサポート
※フットサルステージ(東京都多摩市)にて 3 回開催。健常者チームは 8 チームが参加
「サッカーはみんなのもの。障がいを持つ人も安心してサッカーを楽しめるよう、多くの人達が障がいのことを理解し、多様性を受け入れる一歩とすること」を目的に、CP サッカーチームと健常者チームがソサイチで対戦します。同時に CP サッカーの体験会を

実施し、より一層の理解を深めています。CP サッカーを多くの方に知って頂きたい、という願いを込めています。

皇月フットボールクラブ(東京都)

①タイトル: 2018 年 JFA などでひろは in 皇月フットボールクラブ
開催日/時間: 2019 年 2 月 23 日 10:00 から 12:00
場所: しがわ中央公園
対象: 女子小学生 3 年生から 6 年生
参加者数: 31 人
内容: 手話 de フットサル教室

ダイバーシティサッカー協会(東京都)

①(1)スポーツ交流サロン
期間: 2018/4/7~2019/3/23(全 18 回 第 2 第 4 土曜日)
場所: 住吉公園やフットサルステージ
参加者数: 333 人
内容: (i)アイスブレイク(ii)ボールを使って練習(iii)対戦ゲーム(iv)ミックスゲーム
(2)ダイバーシティカップ5(東京大会)
実施日: 2018 年 10 月 21 日
場所: フットサルステージ
内容: アイスブレイク→リーグ戦→ミックスゲーム→テーマトーク
参加者数: 200 人
②(1)関西のスポーツ交流サロン(4 回で延べ 130 人参加)
ひきこもりや在日外国人、障害のある人の就労支援など毎回テーマを設定し、それぞれのテーマに関連する団体とも連携。多様な背景がある当事者自身が運営や企画にあたり、お互いの境遇を学ぶ機会を開きました。
第 1 回大阪スポーツ交流サロン「ホームレス×サッカー」
2018/9/22(土) キャプテン翼スタジアム天王寺
第 2 回大阪スポーツ交流サロン「ひきこもり×サッカー」
2018/11/10(土) フットメッセ天下茶屋
第 3 回大阪スポーツ交流サロン「外国人×サッカー」
2019/1/13(日) フットメッセ生野
第 4 回大阪スポーツ交流サロン「就労移行×サッカー」
2019/2/9(土) フットメッセ天下茶屋
(2)第 1 回ダイバーシティカップ in 関西
実施日: 2018 年 5 月 12 日
場所: フットサルメッセ天下茶屋
内容: アイスブレイク→リーグ戦→ミックスゲーム
参加者数: 150 人
(3)スポーツを用いた社会的・困難を抱える若者など応援のための支援講習会
社会的・困難を抱える若者などの応援団体がスポーツプログラムを展開できるようにするための人材育成講習会を 4 回行いました。
・第 1 回支援者講習会:
日時: 2018.8.25(土)
場所: 上野TKB貸会議室
テーマ: サッカー(スポーツ)大会運営勉強会
人数: 40 人
・第 2 回支援者講習会:
日時: 2018.12.22(土)
場所: フットサルステージ+E's café
テーマ「スポーツのもつ、小さいけれどたしかな力」体験型交流学習会
人数: 38 人
・第 3 回支援者講習会:
日時: 2019.2.4(月)
場所: (株)リヴァトレ会議室
テーマ: 社会的困難を抱える人々へのスポーツコーチング勉強会
人数: 20 人
・第 4 回支援者講習会:
日時: 2019.3.16(土)
場所: ハロー貸会議室新宿
テーマ: オランダに学ぶ社会性スポーツの展開
人数: 13 人
③(1)ホームレスサッカーやダイバーシティサッカーで培ったノウハウを共有するための勉強会を開催しました。
(2)「サッカー×ひきこもり」というテーマで人々の交流の場としてスポーツ交流サロンを開催できました。
(3)初のダイバーシティカップ関西大会を開催できた。またその場で、10 年ぶりに再会するメンバーがいました。
(4)ホームレスワールドカップに携わるアジア代表者による会議を開催できました。
(5)2018 年度の活動をまとめた報告書を発行することができました。
URL: <https://bigissue.or.jp/action/diversity/>

株式会社 アシスト(東京都)

①タイトル: 障害者サッカー

各団体 2018 年度活動報告

開催日/期間:2017年～
場所:都内各所
対象:幼稚園児～ママさん、シニア
参加者数:多数
内容:障害のある選手をチームに受け入れるようにしています。
ウォーキング・フットボールの普及発展をサポートします。
③月1回、1時間程度、ママさんを対象にウォーキング・フットボール練習会を開催しています。徐々に参加人数が増え、好評です。

A.C ammaliatore(東京都)

①タイトル:継続と発展
開催日/期間:隔週土曜日
場所:文京区
対象:知的障害児
参加者数:5名
内容:環境作りと子ども達の発育発達・自立の手助けを行います。
②ロコミとチラシ配布を行い、チームの周知を促します。
③余裕のあるチームさんは、是非環境の少ない子たちの為に場所を作ってあげてください。それは子ども達だけでなく大人の幅も広がりますし、何より人生が豊かになります!

LARGO FOOTBALL CLUB(東京都)

①6月23日・7月21日・9月15日・10月20日・11月24日
荒川区立赤土小学校体育館・知的障がい者と介護者を対象にしたフットサル
約30名・現在残念ながら参加者が減少しているが介護者がいれば(引率等)
参加したいとの問い合わせも受けます。
③体育館使用の為、天気による中止がない為、参加者の方は予定を立てやすいです。

REPLO TOKYO(東京都)

①タイトル:体験練習も含めた週2の練習
開催日/期間:週2回
場所:赤羽スポーツの森公園競技場
対象:健全者、障がい者
参加者数:10名前後
内容:レプロ東京としての練習。そこに、障がい者スポーツの体験として1.2名程度練習に参加することが多いです。
②タイトル:Fuerte Tokyoとのデフサッカー体験
開催日/期間:
場所:江戸川区臨海球技場
対象:Fuerte Tokyo、レプロ東京の選手・マネージャー
参加者数:約30名
内容:耳栓をして、練習・ミニゲームで擬似体験
ジェスチャーゲーム、ロバクゲームでコミュニケーションを体験
③2018年度に初めて行なった活動で記載したデフサッカー体験ですが、対戦したことのあるチームだからこそ、デフの選手達の技術やコミュニケーションに感動する面も大きかった。障がい者スポーツに興味がある人だけでなく、サッカーを通じて障がい者(現状はデフサッカー)に繋がる方法も有効だと感じました。

FC イグナル(東京都)

①タイトル:精神障がい者及び知的障がい者のフットボール活動
開催日/期間:毎週1回/2015年～
場所:八王子市内体育館
対象:精神障がい者及び知的障がい者、障がい者フットサルへの理解があり、一緒に楽しんでプレー出来る者
参加者数:10名程度
内容:フットボール活動
③タイトル:フットボール活動を通して、心の拠り所となる場作り
開催日/月2～4回
場所:八王子市内体育館
対象:精神障がい者及び知的障がい者
参加者数:10名程度
内容:心の健康に困難な体験を経てきた精神障がい者の多くは、同じ体験を共有できる仲間や安心できる場の存在がなにより大切です。一人ひとりの社会参加や回復への歩みは異なりますが、その人の回復ストーリーを聴く、語る上でもフットサル活動とおした交流は大変有意義な時間となっています。

品川区フットサル連盟(東京都)

②(1)タイトル:障害者スポーツチャレンジデー
開催日/期間:平成30年9月8日(土) 午前9時30分～午後3時30分
場所:しながわ中央公園 多目的広場(品川区西品川1-27-28)
対象:団体メンバー全員
参加者数:10名

各団体の番号の見方

- ①2018年度より前から継続している活動
- ②2018年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



内容:国内のアスリートによるスポーツ教室や試合観戦、各種障害者スポーツ体験を通じて、障害のある人もない人も一緒に楽しみ、交流することで障害者スポーツへの理解と関心を深めることを目的としたイベントのボランティア活動。

(2)タイトル:スポーツフェスタ「OZ(オズ)」

開催日/期間:平成30年10月27日(土)午前10時00分～午後3時00分
場所:しながわ中央公園(区役所前)多目的広場・テニスコート・公園部分
対象:団体メンバー全員

参加者数:11名
内容:東京2020オリンピック・パラリンピック開催2年前を記念するとともに、大会に向けた機運醸成を図る。

品川区内開催競技であるホッケー、ビーチバレーボールの普及啓発により、区内開催競技の認知度向上を目指すとともに、一層のスポーツ推進を図る。同時に、品川区応援競技であるブラインドサッカーの普及啓発を通して、パラリンピック競技および障害者スポーツへの興味関心を高め、障害者理解の促進を図るイベントのボランティア活動。

(3)タイトル:あすチャレ!運動会

開催日/期間:2019年2月2日(土)11:00～15:00
場所:スクエア荏原 アリーナ(品川区荏原 4-5-28)
対象:団体メンバー全員

参加者数:12名
内容:現在、品川区では東京2020オリンピック・パラリンピックの大会機運醸成に向けて、区内開催競技であるホッケー・ビーチバレーボール、区応援競技であるブラインドサッカーをPRしています。この「あすチャレ!運動会」では、パラスポーツの体験を通じて、パラリンピックへの興味関心を高めることで、パラリンピックムーブメントの推進に寄与することを目的とします。また、区内の企業・団体様等が競技を共に体験することにより、相互の連携を強め、オール品川で東京2020大会を盛り上げていくことに繋げていきます。

③心の触れ合いを大切に、互いに人権を尊重し、人間性豊かな地域社会の形成とコミュニティの実現を目指します。区主催のイベントにてブラインドサッカー体験会に参加など障がい者スポーツとの交流・協力(ボランティアスタッフ)に積極的に取り組んでいます。

一般社団法人キッズブークプロジェクト(東京都)

①タイトル:ブラインドサッカー公式戦にてブーク贈呈
開催日/期間:2013年10月
場所:渋谷区立広尾中学校
対象:中学生
参加者数:約10名
内容:渋谷区立広尾中学校で行われたブラインドサッカー公式戦にて、中学生が運営ボランティアをしました。その中で、贈呈用のブークを制作し、試合後選手に贈呈しました。
②(1)タイトル:ブラインドサッカー体験と小学校オリパラ授業ブーク制作をつなげること
開催日/期間:2018年度
場所:港区立港南小学校・港区立赤坂小学校・品川区立宮前小学校
対象:小学生
参加者数:260人以上
内容:ブラインドサッカー体験をした子ども達に、ブークに使う材料作りをしてもらったり、ブークを束ねてもらいました。
(2)タイトル:キッズブークプロジェクト in 赤坂
開催日/期間:2018年12月16日
場所:港区立赤坂小学校
対象:小学生
参加者数:150人以上
内容:ブラインドサッカーワールドグランプリに届けるブークを制作しました。合わせて、元サッカー選手や現役ブラインドサッカー選手の協力でブラインドサッカー体験をしたり、ブラインドサッカー特有の応援の仕方を学びました。
(3)タイトル:アンブティサッカー日本選手権
開催日/期間:2018年11月
場所:富士通スタジアム
対象:小学生
参加者数:15人以上
内容:ブークを制作した子ども達がアンブティサッカー日本選手権を観戦、ブーク贈呈しました。

トライサッカークラブ(東京都)

①タイトル:ワンデー大会
開催日/期間:年間通して土日
場所:中野区
対象:小学1年生～6年生・幼児
参加者数:50名
内容:5人制のミニサッカー大会を開催しました。勝敗はありましたが、5人制にすることで誰でもボールに触る・サッカーのプレーをする。大会ですが、ルールの認識など、サッカーの基礎を学びながら大会を運営しました。

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



特定非営利活動法人 CP サッカー&ライフエスبرانサ(神奈川県)

①タイトル: クラブ活動

開催日/期間: 毎週日曜日

場所: 横浜市

対象: 肢体不自由児者

参加者数: 60 名

内容: 肢体不自由児者を対象としたサッカーチームの活動。

②タイトル: フレームフットボール

開催日/期間: 2019 年 2 月

場所: 東京都

対象: 肢体不自由児及び医療関係者・サッカー指導者

参加者数: 60 名

内容: 移動に歩行器を必要とする肢体不自由児者を対象に、フレーム(歩行器)を使ったサッカーの紹介を、イングランドから講師を招聘して実施。

③誰もがサッカーを楽しめる環境をつくるため、日本初のフレームフットボールの体験会を開催できました。

エスبرانサ NEXT(神奈川県)

①タイトル: エスبرانサ NEXT サッカー教室

開催日/期間: 平日の放課後

場所: 富士通スタジアム

対象: 障がいのある児童、発達に課題のある児童

参加者数: 10 名/日

内容: 知的・発達障がい、自閉症、聴覚障がい、肢体不自由児など、障がいのある子どもたちを対象としたサッカー教室の実施。

③サッカーを通じて、運動能力の向上はもちろんですが、ライフスキルの成長を日々感じることができています。

チーム SMILE サラダ(神奈川県)

①開催日/期間: 毎月 1 日

場所: COSTA 横浜

対象: ボールを蹴りたい人みんな

参加者数: 平均 10 名前後

内容: その日の参加者に合わせて練習及びゲーム

③各種障害者サッカーの垣根を超えた交流

FC PORT(神奈川県)

①(1)開催日/期間: 毎年 11 月

場所: 横浜 FC トレーニングセンター

対象: 精神障害者等の障害者

参加者数: 約 350 名

内容: 横浜 FC 主催の「ヨコハマぼるとカップ」を共催しています。

本戦、エンジョイ、中学生以下リーグの試合を行い、障害者チームが試合を行う場を提供しています。

(2)開催日/期間: 毎月 2~3 回

場所: 横浜ラポール

対象: 精神障害者

参加者数: 15~20 名

内容: FC PORT の練習に参加してもらい、精神障害のある方がサッカーを楽しめる環境を提供し続けています。

②開催日/期間: 平成 30 年 7 月

場所: 横浜市旭区

対象: 障害者サッカーに興味のある方

参加者数: 74 名

内容: 障害の有無にかかわらず、サッカーを通じて交流する場を提供しました。

③障害者サッカーチームとして、神奈川県主催の「精神障害者スポーツフェスティバル」、横浜市中心図書館主催の「ヒューマンライブラリー」、神奈川県サッカー協会主催の「障害者サッカー JOIN DAY」等のイベントに選手を派遣し、精神障害者サッカー(ソーシャルフットボール)の周知と、障害理解の促進について、社会的な貢献活動も行っています。

一般社団法人 公田サッカークラブ(神奈川県)

①タイトル: 通年を通じた活動

対象: 公田 SC 所属メンバー

参加者数: 4 名

内容: 公田 SC では健常者と同じ環境でトレーニングすることに支障が無いのであれば障害者でも受け入れます。

③コーチの中で障害者のスポーツ環境に対する意識が高くなり、外部への視察など積極的な取り組みを行いました。

・ミキサー(健常者も障害者も一緒にフットサルをするイベント)に参加

・横浜 F マリノスの知的障害者サッカー視察

知的障がい者サッカー推進連盟(神奈川県)

①(1)タイトル: ノーマライゼーションフェスタ 2018

開催日/期間: 2018 年 7 月 15 日

場所: 横浜市旭区のフットボールコート「スポーツジャングル 10」

対象: 神奈川県内・健常者および障がい者

参加者数: 約 150 人

内容: 老若男女健・障間わず、スポーツをする!・見る・応援する!・支える! 多様な形でみんなが集うフェスティバル、共生社会推進を目的に人権啓発活動を開催。やまゆり園の惨劇を繰り返さない為に健常者と障がい者が垣根を超えて交流するサッカーイベントです。昨年に引き続き、元 J リーガーもイベントのサポートスタッフとして参加。150 人以上の参加者を集め、継続的に実施しています。また、ノーマライゼーションを知らう! 広めよう! をテーマにノーマライゼーション応援スペシャルサポーター「木村和司さん」を昨年に引き続きゲストに迎え、「木村和司サッカークリニック」を行いました。

(2)タイトル: かながわバラススポーツフェスタ

開催日/期間: 2018 年 9 月 8 日

場所: サテライト会場/神奈川県立平塚ろう学校

対象: 神奈川県内・健常者および障がい者

参加者数: 約 50 人

内容: 昨年に引き続き、障がい者サッカー普及・支援活動を担当。今年度は「第 1 回かながわバラススポーツフェスタ 2018」の知的障がい者サッカーの体験コーナーを担当させていただきました。当日、ボランティアスタッフにて参加していただいた平塚江南高校の学生たちに障がい者サッカー講習会を実施。「垣根を越える」をテーマに体験会では、小学生~高校生の参加者と当連盟のインクルーシブチームと共にトレーニング & ミニゲームを実施しました。

(3)タイトル: U-17 横浜サッカーフェスティバル

開催日/期間: 2018 年 8 月 21 日~23 日

場所: 東海大相模グラウンド、桐蔭学園グラウンド

対象: 神奈川県・横浜市の高校 2 年生以下

参加者数: 約 240 名(計 13 チーム/当連盟チーム含む)

内容: 2013 年よりスタートした次世代を担うユース年代(高校 2 年生以下)の強化と、サッカー文化を神奈川県・横浜市に根付かせることを目的としたニュースタイルの大会「U-17 横浜サッカーフェスティバル」に FPFID のチーム・選手で本年度も参戦いたしました。知的・発達・聴覚の 3 つの障がいを持つ合同チーム「FC SOCIOS」として参加し、全国に先駆け健常者と障がい者が試合や練習を通じて交流を深める活動を昨年に引き続き行っております。

②タイトル: けやき体育館障がい者スポーツ講座

開催日/期間: 2018 年 2 月 17 日、2018 年 9 月 23 日

場所: 相模原ギオンフィールド、相模原市横山公園人工芝グラウンド

対象: 相模原市内在住・在勤・在学の障がいのある方

参加者数: 約 80 名

内容: J リーグクラブと障がい者スポーツ活動の支援事業を担う市立施設と共にスポーツ講座を開催。今回のサッカー教室は「NPO 法人知的障がい者サッカー推進連盟(FPFID) × SC 相模原 × 相模原市立けやき体育館」のトリプルコラボにて実施し、小中学の障がい児に対するスポーツ・サッカー教室を年 2 回行いました。

(4)タイトル: インクルーシブさくらフェスタ/さくらブロードプロジェクト「里のさくら祭り」

開催日/期間: 2018 年 4 月 8 日

場所: 横浜市旭区のフットボールコート「スポーツジャングル 10」

対象: 神奈川県内・健常者および障がい者

参加者数: 約 150 人

内容: さくらの名所として、中原街道から、しらねの里・スポーツジャングル 10 への道路に咲く「桜」に彩られた場所で散策 & フットサルボールを楽しむインクルーシブさくらフェスタを開催いたしました。木村和司プロデューサー総合型地域スポーツクラブと社会福祉法人白根学園との共同で地域密着型のインクルーシブサッカー教室を実施。記念試合・記念植樹・散策コースの模擬店・さくらカフェなど、重度知的・身体障がいのある方々と共にレクリエーション及びスポーツ・サッカー教室を行いました。

③小さいお子さんから老若男女、分け方にはスキルと経験が必要であること。色々な方々に対して、講習会および体験会を実施し、学びとスキルの蓄積を行っていることを実感した 1 年でした。

NPO 法人 レフェリーアカデミー横浜(神奈川県)

①◆従来活動

(1)2018 電動車椅子サッカー交流大会 in 千葉

開催日: 2018 年 6 月 9 日(日)

会場: 八千代市民体育館

対象: 千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県各電動車椅子サッカー協会登録団体

参加者: 12 チーム(71 名)

内容: 大会への審判員派遣

(2)第 2 回 Safilva カップ

開催日: 2018 年 7 月 22 日(日)

会場: 札幌市北区体育館

対象: 北海道、神奈川県各電動車椅子サッカー協会

参加者: 3 チーム(22 名)

内容: 大会への審判員派遣

(3)長野県電動車椅子サッカー大会

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



開催日:2018 年 8 月 11 日(土)
会場:松本市総合体育館
対象:一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会第 1 種加盟チーム
参加者:カテゴリ-1 3 チーム(23 名) カテゴリ-2 3 チーム(21 名)

内容:大会への審判員派遣
(4)第 20 回神奈川県電動車椅子サッカー大会
開催日:2018 年 9 月 16 日(日)
会場:トッケイセキュリティ平塚総合体育館第 1 体育室
対象:神奈川県電動車椅子サッカー協会登録団体
参加者:6 チーム(45 名)

内容:神奈川県大会への審判員派遣
(5)横浜 F・マリノスカップ第 16 回電動車椅子サッカー大会
開催日:2018 年 10 月 6 日(土)~10 月 7 日(日)
会場:障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
対象:一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会第 1 種加盟チーム
参加者:カテゴリ-1 6 チーム(35 名) カテゴリ-2 4 チーム(27 名)

内容:大会への審判員派遣
(6)日本電動車椅子サッカー選手権大会
開催日:2018 年 12 月 1 日(土)~12 月 2 日(日)
会場:小笠山総合運動公園エコパアリーナ
対象:一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会 第 1 種加盟チーム
カテゴリ-1 10 km カテゴリ-2 6 km
参加者:カテゴリ-1 14 チーム(95 名) カテゴリ-2 15 チーム(85 名)

内容:日本選手権大会への審判員派遣参加者:カテゴリ-1 4 チーム(31 名)
(7)第 21 回ドリームカップ
開催日:2018 年 11 月 17 日(土)
会場:トッケイセキュリティ平塚総合体育館第 1 体育室
対象:一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会 第 1 種加盟チーム
参加者:6 チーム(35 名)

内容:日本最強クラブ決定カップ戦への審判員派遣
②(1)横浜市中区在住向け電動車椅子サッカー普及活動会
開催日:2018 年 12 月 29 日(土)
会場:横浜市民活動支援センター
対象:横浜市民一般 参加者:18 名

内容:電動車椅子サッカー活動紹介および普及啓蒙活動
(2)神奈川県電動車椅子サッカー協会審判員新規講習会
開催日:2018 年 11 月 10 日(土)
会場:厚木市東町スポーツセンター
対象:新規取得審判員 参加者:8 名
内容:講師派遣による新規取得者向け競技規則説明

③審判員は大会運営のためには、必要不可欠な存在ですが、審判員個々のレベル資質向上をしていかないと選手等の信頼関係は構築されません。なくてはならない存在として大会と選手をサポートしていかねばならない社会的な意義を大いに感じました。

一般社団法人筑北スポーツ振興協会(長野県)

②タイトル:長野県障がい者サッカー大会
開催日/期間:2018/11/3
場所:筑北村サッカー場
対象:知的障がい者子どもから大人まで
参加者数:200 名
内容:県内の障がい者スポーツ団体と協力して、知的障がい者・児のサッカー大会を企画、運営補助をしています。また、審判の運営担当もしています。

パトリアーレ SABAE(福井県)

②土曜日に実施しているゲームスクール時に手話講座を実施し、参加した選手に手話を覚えて貰う活動をしている。月 2 回程度。対象は小学生~中学生。

清水エスパルス(静岡県)

①タイトル:静岡障がい者サッカー連盟へのコーチ派遣(サッカー教室開催)
開催日/期間:2018 年 4 月~2019 年 3 月(各月 1 回開催)
場所:静岡県内各地
対象:小学生~中学 3 年生
参加者数:延べ 300 名
内容:静岡障がい者サッカー連盟が主催する、サッカー教室へコーチ派遣を実施してサッカー教室を開催。エスパルス Jリーグホームゲーム開催時には IAI スタジアムで前座試合を開催(2019 年 3/31 に実施)。

特定非営利活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポラスター(静岡県)

①ウォーキングサッカーは問い合わせをして、2019 年度体験が出来るようにします。クラブが掲げる「差別なし」に関しては、前述のみんなのフットサル広場にて外国人の参加も増えてきて、国籍を問わずフットボールを楽しんでいます。
③我々クラブは、大人も子どももどんな環境や事情があっても差別なく誰でも入会できるクラブとして活動しています。みんなのフットサル広場では外国人も多く参加し、ちょ

っとした国際交流の場となっています。言葉や文化の違いを肌で感じる良い機会になっています。

一般社団法人 One Life(愛知県)

①タイトル:サッカー
開催日/期間:毎週火曜日、月 4 回 40 回程度
場所:牧野が池緑地公園
対象:障害を持つ小学生から高校生
参加者数:10 名程度
内容:体操をみんなですてからグラウンドでリレーを行い、その後にサッカーのトレーニングをします。ドリブルやパス、シュートなどの基礎的なトレーニングを行い、少しずつボールに慣れる活動をして、活動の最後にはみんなで試合をしてゴールを決める楽しさやサッカーのルールを知っていただけるように活動を行なっています。ゴールを決めたことで自信がついて、家でもトレーニングをしてくれる子ども達もいます。今は、大会参加を目指して難しいトレーニングも行なっています。
③サッカーで少しずつ自信がついてきて、周りの人に声かけられるようになってきたこと。ハイタッチなどのコミュニケーションも取れるようになってきました。技術面でも向上して、今までできなかったプレーができるようになり、一緒に参加しているスタッフにどんどん挑戦してくること。

碧フットボールクラブ(愛知県)

①タイトル:普段の活動
開催日/期間:年間を通して
場所:碧南市内 G
対象:キッズ~大人(男女問わず)
参加者数:10~20
内容:誰でも参加出来る環境の提供
③現在、聴覚障がいの方をクラブの活動で受け入れています。

一般社団法人 AVANGO(愛知県)

障害を持つ子ども達を保護者との相談の元、積極的にスクールに参加できる様に努力しています。

特定非営利活動法人 JOAN スポーツクラブ(愛知県)

①タイトル:手話でフットサル IN 愛知
開催日/期間:夏ごろ
場所:安城市:トライバーフィールド三河安城
対象:子ども~大人
参加者数:20 名
内容:健常者も障害者も一緒になって、行えるサッカーを行いました。

一般社団法人リコブエンテ スクール・アカデミー(愛知県)

①タイトル:for ライフサッカー大会・運動会
開催日/期間:11 月 24 日
場所:フーガルスタジアム石巻
対象:知的障がい者、児
参加者数:知的障がい者 14 名、知的障がい児 13 名、桜丘高校サッカー部員 27 名(ボランティア)
内容:知的障がい者・児が日頃取り組んでいるサッカー、スポーツ全般を親御さんに披露することで成長を実感していただく発表の場としています。
②内容:昨年まではサッカー大会と運動会を別々に開催していましたが桜丘高校サッカー部員のボランティアに協力をさせていただいて同日に開催しました。
③知的障がい者、児がスポーツで身体を動かす機会が学校のみで運動不足になりストレス発散する場所がない。知的障がい者、児のスポーツは心と身体のバランスを保つのに最適です。

ベルナサッカークラブ(三重県)

①タイトル:ろう者サッカー男子日本代表交流イベント
開催日/期間:10/6
場所:三重県三重郡菟野町大羽根運動公園
対象:U-7~12
参加者数:約 40 人
内容:ろう者サッカー日本代表の選手に弊クラブの選手が手話などを教えてもらったりミニゲームを楽しむ。
③5 年生の選手がコーチに教わった手話を教えていました。

FC プログレッツ(岐阜県)

①タイトル:All Mix Football #4
開催日/期間:2019.3.10
場所:キャプテン翼スタジアム垂井
対象:障がい者・健常者
参加者数:約 100 名
内容:第 4 回 All Mix Football を開催しました。このイベントは岐阜県障がい者スポーツ普及・促進事業助成を受けて開催。FC岐阜スクールコーチによるサッカークリニックを

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



参加者数: 30 人

内容: 親睦サッカー大会

③平成 17 年の活動スタート以来、重度から軽度まで、さまざまな障害を持つメンバーを受け入れ、その障害の状況に応じた練習メニューを組み立てて、練習に取り組んで来ました。その練習も、サッカーのスキル向上に取り組むと共に、メンバーひとりひとりの自信を育てる取り組みをして参りました。また諸事情でサークルを一旦離れたメンバーが戻って来て活動を再開したりと、長年の継続的な活動がまさに『ホーム』となっていることが大変嬉しく思うことです。私達のサークルは、試合に出ることを第一の目標とはしていません。サッカーを通して、障がいをもつ子供達、青年達が自分自身に自信を持ち、誇りを持てるような、そんな応援団でありたいと思います。

あかしユニバーサルフットボール連盟(兵庫県)

①(1)タイトル: AUFA・135E ネット共催大会

開催日/期間: 2018年5月19日土曜日

場所: 明石大蔵海岸多目的広場フットサル場

対象: 明石市内作業所に所属する全障がい者を含む職員・家族ほかどなたでも

参加者数: 136名

内容: 明石市内の作業所に所属する全障がい者を中心に職員・家族・知り合い・近所の方などどなたでも参加して、フットサル大会を行いました。

(2)タイトル: AUFA元Jリーガーサッカー教室

開催日/期間: 2018年6月17日土曜日

場所: 明石大蔵海岸多目的広場フットサル場

対象: 全障がい者を含むどなたでも

参加者数: 94名

内容: 元Jリーガーによる障がい者等どなたでも参加してサッカー教室を行いました。

(3)タイトル: AUFA第5回あかしごちゃまぜフットサルフェスティバル

開催日/期間: 2018年9月30日土曜日 雨天中止

場所: 明石大蔵海岸多目的広場フットサル場

対象: 全障がい者を含むどなたでも

参加者数: 雨天中止

内容: 健康者・障がい者をごちゃまぜに全員でフットサル等を行う予定でしたが、雨天中止となりました。

(4)タイトル: AUFA・(一社)明石サッカー協会共催ユニバーサルフットサル交流大会

開催日/期間: 2018年11月23日金曜日

場所: 明石大蔵海岸多目的広場フットサル場

対象: 全障がい者を含むどなたでも

参加者数: 139名

内容: (一社)明石サッカー協会さんの運営を中心に障がい者も健康者も一緒に遊んで遊びを取り入れた準備運動をしたり、フットサル大会を行いました。

(5)タイトル: AUFAキッズフェスティバル

開催日/期間: 2019年2月9日土曜日

場所: 兵庫県立障害者スポーツ交流館体育館

対象: 全障がい児・健康児を含む幼児・児童ならどなたでも

参加者数: 44名

内容: 障がい児・健康児をグループ分けをして少人数で、ボール遊びを中心に遊びやサッカーなどを楽しみました。

②タイトル: JCカップU-11 明石少年少女サッカー大会体験会

開催日/期間: 2018年5月6日土曜日

場所: 兵庫県立明石公園陸上競技場

対象: 明石4種登録している選手及び観客および明石公園に遊びに来ている方どなたでも

参加者数: 120名

内容: アンブティサッカーの体験

③どの大会もみんなごちゃまぜになり、積極的に全員参加して楽しんでくれました。

ウエルネス(兵庫県)

①タイトル: みんなが活動できる環境を提供する

開催日/期間: 随時

対象: 誰でも

内容: 参加する子どもたちが生き生きとできる瞬間を提供しています。

サッカーのトレーニングだけではなく、キャンプや様々なイベントにも可能なものには参加してもらい、だれとでもかかわりあえる環境を提供しています。

但馬知的障がい者サッカー連盟(兵庫県)

②(1)タイトル: トレセン活動

開催日/期間: 2018年4月~2018年3月

場所: 出石精和園、出石特別支援学校、しおかぜ香苑

対象: 但馬地区在住の知的障がい者(児)

参加者数: 場所により異なるが10名から30名程度

内容: サッカーの練習

(2)タイトル: 選抜活動

開催日/期間: 2018年8月

場所: しおかぜ香苑、浜坂県民サンビーチ

対象: 但馬地区在住の知的障がい者(児)

参加者数: 10名

内容: トレセン活動を通して選抜された但馬選抜で8人制サッカー大会とビーチサッカー大会に出場しました。

③但馬トレセンでは FD サッカーの普及に努め、ニーズの獲得を図れました。但馬選抜では大会にてビーチサッカー日本代表選手やインターハイ出場現役サッカー部員との交流が図れました。

A-pfeile 広島(広島県)

①タイトル: 西日本アダブテッドフットボールフェスティバル

開催日/期間: 2016 年度から年 1 回 2~3 日間 開催

場所:

2016 年度: 修道大学人工芝グラウンド、広域公園補助グラウンド

2017 年度: マエダハウジング東区スポーツセンター、広島経済大学フットボールパーク

2018 年度: 広島経済大学フットボールパーク、マエダハウジング東区スポーツセンター、

広島青少年文化センター人工芝グラウンド

対象: 障がい者スポーツに興味を持っている方、サッカー好きの方など

参加人数: おおよそ 200 名

内容: 日本障がい者サッカー連盟の理念に基づき、広く障がい者サッカーに親しみ機会を作ることで、技術の向上ならびに認知・普及振興に寄与することを目的に西日本を中心とした選手・チームが参加できる交流試合の開催を継続的に行う。電動車いすサッカー、ブラインドサッカー、アンブティサッカーの 3 種類の交流試合を実施する。また、障害の有無に関わらず誰もが同一のフィールドにて試合を行える機会を提供しています。

②タイトル: インクルーシブフットボールフェスタへの参加

開催日/期間: 2018 年 3 月 2 日

場所: 広島市佐伯区スポーツセンター

対象: 誰でも、サッカーに興味がある方

参加人数: おおよそ 250 名

内容: 障がいの有無やサッカーの種別などの違いを超え、障がいを持っている人と健康者が混合チームと一緒にサッカーを楽しむ機会を提供する。今回は東京以外の都市では初の開催でした。

NPO 法人 School Green Japan(愛媛県)

①タイトル: 障がい者スポーツイベント

開催日/期間: 2017 年 10 月

場所: 愛媛県松山市

対象: 障がい者

参加者数: 300 人

内容: 愛媛県松山市障害者ふれあいスポーツ大会、運営支援。

②(1)タイトル: エンジョイパラスポーツ 2018

開催日/期間: 2018 年 10 月~11 月

場所: 愛媛県松山市、今治市

対象: 一般、障がい者。

参加者数: 80 人

内容: 障がい者とスポーツを通じた共生社会創生事業として、「平成 30 年度愛媛県 NPO 法人活動助成事業」「平成 30 年度愛媛県障がい者スポーツイベント開催支援事業」の 2 事業を受け、「セミナー&体験会」形式で、セミナーを障がい者スポーツ、スポーツボランティア等の有識者の方に、体験会は、ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすツインバスケット、車いすスポーツ等を競技クラブの支援を受けて全 4 回開催しました。

(2)タイトル: えひめ障がい者スポーツ研究会

開催日/期間: 2018 年 11 月~3 月

場所: 愛媛県 松山記念病院

対象: 障がい者支援 NPO・ボランティア・指導者、医療・福祉、学校教育、自治体、企業、障がい者(アスリート)関心のある人どなたでも参加可

参加者数: 10 名×3 回 30 名

内容: 愛媛県内で障がい者スポーツに関係していたり、関心のある人が自由に参加でき、情報交換・共有、交流の場として、課題解決に向けて取り組んでいくための会として、毎月 1 回開催中。

(3)タイトル: 障がい者スポーツ大会の運営ボランティア活動

開催日/期間: 2018 年

場所: 愛媛県 松山市内

対象: 障がい者

参加者数: 500 人

内容: 愛媛県松山市主催、障がい者スポーツ大会の運営支援活動として、大会準備、スタッフとして活動。

③タイトル: エンジョイパラスポーツ

開催日/期間: 2018 年 10 月~現在

場所: 愛媛県内

対象: 一般、障がい者、学生

参加者数: 100 名

内容: 障がい者スポーツを通じて共生社会づくりを目指した活動として、「セミナー&体験会」を実施し、障がい者の現状を一般の人に理解してもらうこと、障がい者の人がスポーツを通じた社会参加など、お互いが課題に気づき、考えるきっかけとなる活動が

各団体 2018 年度活動報告

各団体の番号の見方

- ①2018 年度より前から継続している活動
- ②2018 年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介



でき、課題解決に取り組むべく活動が動き始めました。今後は、スポーツクラブを核に、障がいスポーツ教室の開催、障がい者スポーツクラブの支援、マルチステークホルダーとの連携等を進めていきたいです。

特定非営利活動法人 春日イーグルス(福岡県)

- ①今年度は、ブラインドサッカー交流会は日程が合わずに実施することができなかったが、U-13 年代の春に交流事業を計画しようというスタッフの意見がでた。
- ②福岡大学サッカー部が主催するろうあ者サッカー交流会に U-18 メンバーが参加することができました。

Copa Otori(福岡県)

- ②タイトル: CopaOtori(コパオタリ)
- 開催日/期間: 毎週水曜、日曜の 20 時～22 時
- 場所: 南当仁小学校体育館
- 対象: 年齢問わず、初心者、経験者、男性女性問わず対象
- 参加者数: 20 名～25 名
- 内容: フットサル
- ③障がいがある無いに関わらず、どんな方でも受け入れて参加者みんなが楽しめる環境を提供しました。

特定非営利活動法人カティオーラ(大分県)

- ①タイトル: 別府湯の華カップに参加
- 開催日/期間: 2019 年2月24日(日)
- 場所: 別府実相寺グラウンド
- 対象: 男女(年齢制限なし)障がい者
- 参加者数: 不明(100人以上)12チーム
- 内容: 女子サッカーの普及と女子チーム・女子サッカーを応援いただけるチーム・障がい者チームとの交流。サッカーファミリーを増やし、サッカーの楽しさを味わってもらう大会です。

テゲバジャーロ宮崎(宮崎県)

- ①(1)開催日/期間: 2018/4/1～2019/3/31
- 場所: 宮崎県全域
- 対象: 知的、精神、CP
- 参加者数: 20 人
- 内容: 月二回のスクール活動を実施。
- (2)開催日/期間: 2018/4/1～2019/3/31
- 場所: 宮崎県全域
- 対象: 弱視児童、CP 児童、下肢障害児童、兄弟児童
- 参加者数: 10 人
- 内容: 月二回のスクール活動を実施。
- (3)開催日/期間: 2019/1/15,16
- 場所: 宮崎県全域
- 対象: 年齢不問、障害不問、性別不問、サッカー経験不問等
- 参加者数: 100 人
- 内容: ユニファイドスポーツフェスティバル。年齢不問、障害不問、性別不問、サッカー経験不問にて参加者を募り グルーピング。総当たりのリーグ戦にて順位をきめます。知的、精神、CP、アンブティ、視覚、聴覚、女子、サッカー選手、高校生、4種チーム、3種チーム、行政関係者、サッカー協会関係者などが集まり、互いにサッカーを通して理解を深める事を目的としました。
- (4)開催日/期間: 2018/4/1～2019/3/31
- 場所: 宮崎県全域
- 対象: アンブティ、女子、3種チーム
- 参加者数: 30 人
- 内容: 年間三回トレーニングマッチ
- ②ユニファイドスポーツフェスティバルの二日目に、障がい者サッカーのカテゴリー、3種チーム、4種チーム等で、トレーニングマッチを実施。強化の意味合いも付け足した。参加カテゴリーは知的(+CP)、精神、弱視、アンブティ、3種(+デフ)、4種
- (1)開催日/期間: 2018/4/1～2019/3/31
- 場所: 宮崎県全域
- 対象: デフ
- 参加者数: デフ 1 人
- 内容: 女子チーム所属としリーグ戦に参加
- (2)開催日/期間: 2018/7
- 場所: 宮崎市
- 対象: アンブティ日本代表、3種チーム
- 参加者数: 30 人
- 内容: アンブティサッカー日本代表のトレーニングマッチの相手チームとして、アカデミーチームが参加。
- (3)開催日/期間: 2018/4/1～2019/11/31
- 場所: 宮崎県全域
- 対象: 知的、CP、弱視
- 参加者数: 20 人

内容: JFL ホーム戦の運営スタッフとして参加。社会参加の一步、より身近でサッカーを感じてもらうこと、同じエンブレムを付けてサッカーをすることへのモチベーション向上を目的とした。運営終了後には同じピッチにてトレーニング等を実施しました。

③普及と認知のみだけでなく、強化の意味合いを持たせた時間は、中々トレーニングマッチを組めない障がい者サッカーには団体参加を促せる要因となる事がわかりました。

一般社団法人蹴-1 協会(宮崎県)

- ①タイトル: 蹴-1GP
- 開催日/期間: 2019 年3月 17 日
- 場所: 藤見公園陸上競技場
- 対象: U-9 クラス、U-12 クラス、一般クラス(中学生から最高齢76歳)
- 参加者数: 2800 名
- 内容: サッカーの PK 大会
- ③PK 大会ということで、アンブティサッカー、知的、CP、デフと様々な障がいを持ったチームの選手もプレーしていただきました。メディアにも取り上げられて、現在他県からも障害者サッカーチームが参加するようになりました。

山口・九州ろう者サッカー協会(鹿児島県)

- ①第 24 回山口・九州ろう者サッカー選手権大会 in 熊本
- 毎年九州のチームが集まり九州一が争われる大会になります。今年で 24 年連続開催している伝統ある大会です。今年は選手スタッフ総勢 100 名程で行われました。詳細は日本ろう者サッカー協会 HP をご覧ください。
http://jdfa.jp/news/deaf_soccer_kdfa_20190317/
- ②福岡大学で精神障害、切断障害、聴覚障害の各団体が集まりイベントを行いました。
<https://www.fukuoka-u.ac.jp/community/column/19/01/07161132.html>

一般社団法人サンビスカス沖縄(沖縄県)

- ①タイトル: サッカースクール
- 開催日/期間: 毎週月～金開催
- 場所: 沖縄県全域
- 対象: 小学生
- 参加者数: 発達に障がいを持っている子が数名
- 内容: サッカースクール
- ③クラブでは、積極的に発達に障がいのある子を受け入れています。最初はなかなか練習にも最後まで参加することが難しかった子が、今ではかなりスクールに慣れて、最後まで練習に取り組むことができるようになりました。保護者の方からも、サッカーを始めてから、学校生活もとても良くなったとお話をされています。